

Odds Park Club

姫路競馬場特集

vol.56

2020.1~3

ジョッキーインタビュー
田中学騎手

Graded Dirt Races

- 1/22 TCK女王盃 JpnⅢ(大井)
- 1/29 川崎記念 JpnI(川崎)
- 2/11 佐賀記念 JpnⅢ(佐賀)
- 3/ 5 エンプレス杯 JpnII(川崎)
- 3/10 黒船賞 JpnⅢ(高知)
- 3/11 ダイオライト記念 JpnII(船橋)
- 3/12 名古屋大賞典 JpnⅢ(名古屋)

歴史の ひとコマ 姫路競馬場

故・吉行龍穂師の思い出

姫路開催と聞いて思い出すのはしんどさばかり。というのも、園田より移動距離が短いことを理由に西脇トレセン担当の自分への仕事負担量が増加、いつも疲れ切って家路につく日々だった……。ただ、そんな状況下での予想と馬券のW的中となれば普段観ているレースより自然と忘れ難いモノに。

一番印象深いのが2006年9月6日の姫路チャレンジカップ。制したのは単勝7番人気キーホーク。他の記者全員が無印や×穴印という低評価のなか自分のみ3番手評価▲印、馬券でも大勝ちしたことを記憶している。同馬の主戦を務めた松平幸秀騎手(現調教師)は当時をこう振り返る。「あの日は雨で前が止まらない馬場でしたし、曾和先生が管理されていた快足馬プリティスキャンが有利という評価でしたね。色々考えましたが、最終的に『変にスタイルを崩すのは止めよう』と腹を括って末脚に賭け

ました。結果的にうまくハマりました」

同馬を管理されていた吉行龍穂調教師にとってもこの勝利が初重賞Vだった。後に数々の重賞馬を送り出したが、その度に「どんな馬で重賞勝とうが、うちの最初はキーホーク。みんなからバカにされたところから始まるからな(笑)」と笑顔で語っていたことを思い出す。

この勝利には松平調教師にも特別な思いがあったようだ。「デビュー当初は若いばっかりに周囲の人たちへナメた態度で接してまして……(苦笑)。ただ、そんな自分に『兄ちゃん生意気やな。おもしろいから乗せたるわ』と声を掛けてくれたのが吉行先生でした。その後、西脇トレセンで厩舎開業されてからも園田所属の自分を気に掛けてくださいましたし、追い切り日には西脇へ呼んでいただくこともありました。お世話になっていた先生へタイトルがプレゼントできたことは本当に嬉しかったですね」

2018年8月に吉行調教師が突然の死去、それに伴い厩舎解散となってしまったが、殆どの所属馬、所属スタッフを預かることになったのも松平厩舎だった。「開業から結果が出せず悩んでいた自分に先生は『お前なら大丈夫！頑張りなアカンで！』と会う度に励ましてくれました。預かることになったのも不思議な縁というか、先生が形にして背中を押してくれているような気がしましたね」

その期待に応えるかのようには去年はバンローズキングスで兵庫ダービーを制するなど常勝厩舎へ飛躍。そんななか今一番注目を集めているのが



写真○大恵陽子

重賞初制覇は姫路だった故・吉行龍穂調教師

3歳牡馬ピスハンド。キャリア2戦目で臨んだ兵庫若駒賞では同世代の大格将・エキサイターに勝負どころで迫る場面を作るなど見せ場十分の2着。「改めて同馬の可能性を感じさせられたレースでしたね。馬名由来にも森田藤治オーナーの吉行先生へ対する思いを感じますし、大きいところを獲らせてあげたいですね」と談。エストニアの民話における「小さなドラゴン」が由来、確かに吉行調教師の名である龍穂の龍を連想させる馬名だ。1月15日(水)から約7年半ぶりの開催となる姫路競馬、吉行調教師との思い出詰まった場所で同馬が活躍する姿も是非見てみたいものだ。

中司匡洋 (なかつかさまさひろ)

兵庫県競馬専門紙『競馬キンキ』西脇トレセン所属馬の取材担当に就いてから今年で17年目のトラックマン。競馬予想のモットーは「説得力重視」。現在は映画鑑賞、御朱印集め、ドラクエウォークの3本柱が仕事の活力。

ピックアップ
Pickup!!
注目重賞

第13回 天馬賞

1月3日(金) 5歳 帯広200m

明け5歳馬による4歳シーズン三冠目として2007年度に創設。ばんえい競馬の古馬重賞・帯広記念とともに年始の注目レースとなっている。過去にはホクショウユウキ(14年)、センゴクエース(17年)、マルミゴウカイ(18年)が、柏林賞、銀河賞に続いて、このレースを制覇。見事4歳シーズン三冠を達成している。16年のキサラクは牝馬として初めて天馬賞を制覇した。鈴木恵介騎手が2015年から3連覇を含め、通算5勝を挙げており、18年も2着と好相性を示している。19年の勝ち馬メジロゴロリキは、その後チャンピオンカップ、ポプラ賞と重賞を連勝。今季もばんえいグランプリ2着など古馬重賞で好勝負を続けている。

第9回 大高坂賞

1月19日(日) 4歳以上 高知1400m

黒潮スプリンターズカップ、だるま夕日賞とともに黒船賞JpnⅢの選考競走に指定されており、本番と同じ1400mで実施される。第1回、第2回は福山競馬場で福山・高知交流として行われたが、2013年の福山競馬場の廃止に伴い、第3回から高知競馬場で実施されている。15～17年にはクラシャイニーが3連覇を達成。13歳になった19年でも現役を続けている。また、15～19年には赤岡修次騎手が5連覇を達成。19年の勝ち馬サクラレグナムは、クラシャイニーと同じ田中守調教師の管理馬。同馬は続く黒潮スプリンターズカップも勝利しており、選考競走を連勝。本番の黒船賞では、地元馬では最先着となる5着と健闘した。



写真○高知県競馬組合

2019年大高坂賞 サクラレグナム

第7回 梅桜賞

1月28日(火) 3歳牝馬 名古屋1800m



写真○愛知県競馬組合

2019年梅桜賞 エムエスクイーン

今年で第7回を迎える明け3歳牝馬による北陸・東海・近畿地区交流重賞。2014年の第1回から3年連続で兵庫所属馬が勝利を挙げており、いずれも園田ジュニアカップ→園田クイーンセレクションという臨戦過程だった。また、14年は園田クイーンセレクション組が4着までを独占している。金沢のヤマミダンスが勝利した17年には、他地区からの遠征馬が3着以内を独占しており、それまで地元勢の勝利はなかったが、近2年はサムライドライブ、エムエスクイーンとデビューから無敗の地元馬が連勝。両馬はその後無敗で東海ダービーまで駒を進めたが、サムライドライブは2着、エムエスクイーンは1着と明暗が分かれる結果となった。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●親子鷹での快挙なるか

今年度の第15回開催は、11月3日にはシンザンボーイが北見記念で重賞初優勝、4日はホクショウマサルがばんえい記録更新の28連勝を達成。そして10日のばんえい菊花賞はメモロブソップが優勝した。3頭とも坂本東一厩舎で、手綱は阿部武臣騎手だった。

阿部騎手がデビューした平成10年ごろは、ばんえいの世界でも若い世代にとっては、いろいろな意味で氷河期といえる。当時ばんえい界にはミスターばんえいと呼ばれた金山明彦騎手を筆頭に、鈴木勝提、西弘美、阿部騎手にとってはのちの義父であり調教師となる坂本東一など花形騎手揃い。総勢40人ほどと多く、デビュー直後の新人騎手は平場戦で10キロ減量の特典があるうちはまだしも、減量が取れると一気に騎乗依頼が減り、乗り馬は所属厩舎の担当馬くらいで、当時の新人騎手が通らなければならない厳しい道であった。

阿部騎手も最初に所属した厩舎では乗り数は少なく、おまけに結果を出せなければ、二度目はあっても三度目はないの

が勝負の世界。現在の坂本厩舎にくるまでは6つの厩舎に所属したという。「うちの厩舎にきた当時はイケダガッツやシベチャタイガー、ホッカイヒカルと後方からの競馬しかできない難しい馬が多かったが、武も本当に苦労して最後はすっかり手の内に入れ、ホッカイヒカルで柏林賞馬にした自信が、いま先行馬のメモロブソップや、ハナから走らないタナポタチャンと、いろんなタイプの馬でも自分で展開を作れるようになった」と、坂本調教師は阿部騎手について語った。

ホクショウマサルの連勝記録や2週連続での重賞勝ちも快挙だが、(11月25



11月3日 北見記念 シンザンボーイ

日終了現在で) 阿部騎手は、同期の鈴木恵介騎手を押さえて、また義父である坂本調教師もそれぞれリーディング1位。暫定だが親子鷹でのリーディングはばんえい史上初の快挙である。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/1	はまなす賞(3歳・4歳)	200	キタノユウジロウ(牡4)	松田道明	ばんえい・村上慎一
9/22	岩見沢記念(3歳以上)	200	コウシュハウンカイ(牡9)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文
9/29	銀河賞(4歳)	200	キタノユウジロウ(牡4)	松田道明	ばんえい・村上慎一
10/20	ナナカマド賞(2歳)	200	キョウエイリユウ(牡2)	松田道明	ばんえい・村上慎一
11/3	北見記念(3歳以上)	200	シンザンボーイ(牡8)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
11/10	ばんえい菊花賞(3歳)	200	メモロブソップ(牡3)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
11/17	クインカップ(4歳牝)	200	ミスタカシマ(牝4)	鈴木恵介	ばんえい・槻舘重人

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●目覚ましかった3歳の台頭

4月17日に開幕した2019シーズンは、11月7日の古馬頂上決戦・第62回道営記念をもって、約7カ月間、計15開催80日間の全日程を終了。全国のファンの支持がさらに高まり、開幕直後から最後まで大幅な伸びを示し続けた発売成績は、最終日のラスト2重賞(プロッサムカップ、道営記念)が爆発的に売れて1日発売額が8億円を突破。その最後のひと押しで年間総発売額はついに330億円を超え、なんと、バブル崩壊から程ない1993年の333億円にあと一步まで迫るV字回復を記録した。もちろん当時(93年104日間)より開催日数が大幅に減ったなかでの数字だけに価値は高い。



11月7日 道営記念 リンノレジェンド

とはいえ、全国のファンの皆さんに選び続けてもらえる商品(レース中心に)を提示、提供していけるかが最重要課題であることは来季以降も変わらない。

レースシーンでは、佳境に差しかかったの絶対王者スーパーステーション戦線離脱を残念に感じた向きは多かったろうが、その大きな穴を埋めるように3歳勢がグイグイ台頭してみせた。大井・黒潮盃、盛岡・ダービーグランプリに続き道営記念も押し切って重賞3連勝、一気に頂点まで駆け上がったリンノレジェンド

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/12	旭岳賞(3歳以上)	2000	スーパーステーション(牡5)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
9/19	フローラルカップ(2歳牝)	1600	ミステリーベルン(牝2)	宮崎光行	北海道・小国博行
9/25	イノセントカップ(2歳)	1200	ハイセイメジャー(牡2)	宮崎光行	北海道・松本隆宏
10/3	サンライズカップ(2歳)	1800	ティーズダンク(牡2)	宮崎光行	北海道・小野 望
10/8	道営スプリント(3歳以上)	1200	アプトウユウ(牝5)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
10/9	瑞穂賞(3歳以上)	1800	バルダツサーレ(牡6)	五十嵐冬樹	北海道・松森邦夫
10/10	エーデルワイス賞 Jpn III(2歳牝)	1200	コーラルツッキー(牝2)	服部茂史	北海道・田中淳司
10/24	サッポロクラシックカップ(2歳)	1200	ハイセイメジャー(牡2)	宮崎光行	北海道・松本隆宏
10/31	北海道2歳優駿 Jpn III(2歳)	1800	キメラヴェリテ(牡2)	福永祐一	JRA・中竹和也
11/7	プロッサムカップ(2歳牝)	1700	ネーロールチェンテ(牝2)	宮崎光行	北海道・米川 昇
11/7	道営記念(3歳以上)	2000	リンノレジェンド(牡3)	岡部 誠	北海道・林 和弘

は冬場を完全休養。来春コスモバルク記念で復帰予定だ。

そのリンノレジェンドをすべて抑え切って9年ぶり史上5頭目の北海道三冠馬に輝いたリンノレジェンドは、遠征の園田・楠賞を単勝元返しに断然人気に呼んでノーステッキで圧勝。「冬場は船橋・矢野(義幸)厩舎に移籍する」(堂山芳則調教師)ということだが、来春、再び門別に戻ってリンノレジェンドとの“霸王対決”なるかも注目されることになりそうだ。

文●HDK

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●明け4歳に熱視線

秋の盛岡開催は、3歳路線が急展開を見せた。昨年知床賞を勝ち、今年南関東のクラシックを戦ってきたヤマショウブラックと、昨年若駒賞を勝ち、今年金沢所属で岐阜金賞を勝ったニューホープが、秋のビッグタイトルを狙って相次ぎ水沢へ復帰。東北優駿とダイヤモンドカップを勝って二冠馬となったパンプキンズが、これを受けて立つかたちになった。昨年度は開催中止の影響があり、2歳最優秀馬を選定できなかったが、その時の有力候補馬が改めて勢揃い。

不來方賞はこれら3頭が人気を分け合っているの好レース。逃げるパンプキンズを追走して絶妙のタイミングで抜け出した



9月16日 不來方賞 ヤマショウブラック

ニューホープを、直線勝負にかけたヤマショウブラックがゴール寸前で差し切り。ヤマショウブラックは、転入当初まだ南関東での疲れが心配されていたが、その後のイーハトーブマイル時は「返し馬に出る時の動きを見て、確信を持った」と小林俊彦調教師が語ったように調子を上げていた。この時点で桐花賞参戦を表明している。

不來方賞を3着に敗れたパンプキンズは、ダービーグランプリへは向かわず、適距離とはいえマイルチャンピオンシップ南部杯JpnI(13着)、絆カップ(8着)と古馬に挑戦。出走は叶わなかったが、「選ばれればJBCスプリントにも」(伊藤和忍調教師)と意欲的な姿勢を見せた。2歳時も強い相手に戦いを挑み、敗戦を糧にして、のちに結果を出している。新年は明け4歳馬の動向に期待したい。

文●深田桂一(ケイシュウニュース)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/1	ビギナーズカップ(2歳)	盛岡 1400	コパノキャリー(牝2)	山本政聡	岩手・櫻田浩樹
9/8	青藍賞(3歳以上)	盛岡 1600	エンバイアベガス(牡6)	菅原俊吏	岩手・佐藤祐司
9/15	ジュニアグランプリ(2歳)	盛岡 1600	フジノロケット(牡2)	菅原辰徳	北海道・米川 昇
9/16	不來方賞(3歳)	盛岡 2000	ヤマショウブラック(牡3)	高松 亮	岩手・小林俊彦
9/22	岩手県知事杯OROカップ(3歳以上)	盛岡 1700	コスモリウゲツ(牡5)	山本政聡	岩手・板垣吉則
10/6	ダービーグランプリ(3歳)	盛岡 2000	リンノレジェンド(牡3)	岡部 誠	北海道・林 和弘
10/13	若駒賞(2歳)	盛岡 1600	グランコージー(牡2)	鈴木 祐	岩手・櫻田康二
10/14	マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI(3歳以上)	盛岡 1600	サンライズノヴァ(牡5)	吉原寛人	JRA・音無秀孝
10/20	OROターフスプリント(3歳以上)	盛岡 1000	エイシンテキサス(牡9)	山林堂信彦	名古屋・坂口義幸
10/27	知床賞(2歳)	盛岡 1400	アクアリーブル(牝2)	岡部 誠	北海道・角川秀樹
11/3	イーハトーブマイル(3歳)	盛岡 1600	ヤマショウブラック(牡3)	高松 亮	岩手・小林俊彦
11/10	南部駒賞(2歳)	盛岡 1600	モリノブレイク(牡2)	岩橋勇二	北海道・角川秀樹
11/17	絆カップ(3歳以上)	盛岡 1600	ロジストーム(牡6)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
	プリンセスカップ(2歳牝)	水沢 1400			実施されず

金沢競馬

場番号 41#

●JpnI 勝ち吉原騎手次なる目標は

吉原寛人騎手が10月14日に盛岡で行われたマイルチャンピオンシップ南部杯を、JRAのサンライズノヴァで勝ち、JpnI初制覇を果たした。JRA勢7頭の中では単勝4番人気とあまり評価は高くなかったが、1番人気のゴールドドリームを横目に見ながら絶好の手応えで4コーナーを駆け上がって行くと、馬場のど真ん中を豪快な末脚で突き抜けた。「出遅れると聞いていたのでゲートは気をつけていたけど問題なかった。しっかりした馬体で乗り味も良かったので、3コーナーあたりでこのまま行ったら勝っちゃうな」と思った。勝つ時って自分が想像してい



吉原騎手(右から2番目)が南部杯でJpnI初制覇

る以上に事がうまく運ぶ」と、レースを振り返った。

思えば9年前(2011年)に期間限定騎乗制度を利用して冬場に南関東で2カ月間騎乗したのをきっかけに、全国の競馬場を巡る“マタタビ(また旅)ジョッキー”に。そして吉原騎手などの活躍によってダートグレードでも所属場以外の馬に騎乗できるようになった。JpnIを勝つことは現実となり、ハッピープリントで挑んだ14年のジャパンダートダービーJpnIではハナ差で敗れる悔しい思いをした。それから5年かかったが、ついに悲願は達成された。

写真●岩手県競馬組合、石川県競馬事業局



9月8日 サラブレッド大賞典 タンクティーエー

後日に金沢で行われた優勝報告会では「夢がかなって目標がない」と苦笑いだったが、11月に高知の土佐秋月賞を制したことで、重賞を勝っていないのは佐賀と姫路だけに。次の目標は地方全場重賞制覇に決まった。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	イヌワシ賞(3歳以上)	2000	タガノゴールド(牡8)	下原 理	兵庫・新子雅司
9/8	サラブレッド大賞典(3歳)	2000	タンクティーエー(牡3)	藤田弘治	金沢・高橋俊之
9/29	金沢プリンセスカップ(2歳牝)	1400	ハイタッチガール(牝2)	青柳正義	金沢・中川雅之
10/1	白山大賞典JpnIII(3歳以上)	2100	グリム(牡4)	濱中 俊	JRA・野中賢二
10/15	兼六園ジュニアカップ(2歳)	1500	ハイタッチガール(牝2)	青柳正義	金沢・中川雅之
11/10	北國王冠(3歳以上)	2600	タガノゴールド(牡8)	下原 理	兵庫・新子雅司
11/12	金沢シンデレラカップ(2歳牝)	1500	ミステリーベルン(牝2)	宮崎光行	北海道・小国博行
11/24	金沢ヤングチャンピオン(2歳)	1700	エムティエーレ(牝2)	栗原大河	金沢・佐藤 茂

写真●岐阜県地方競馬組合

笠松競馬



場番号 42#

●注目コンビの笠松グランプリ挑戦

秋シーズンの目玉は、春のオグリキャップ記念とともに笠松で最高優勝賞金を誇る笠松グランプリ。2012年から地方全国交流となり、19年はフルゲートが12頭へ拡大したメモリアルレースに、北は北海道から西は高知まで、遠征勢5頭がすべてタイトルホルダー。そして迎え撃つ東海勢も4頭の重賞覇者がそろそろ、史上最高といえるメンバーによるハイレベルな戦いだった。レースはトライアルの名古屋・ゴールド争覇を圧勝したケイマ(高知)が勢いそのままに、2番手から早め3コーナー先頭で後続を振り切り、



11月21日 笠松グランプリ ケイマ

重賞5連勝を成し遂げた。

そんななか、4着に終わったものの、急成長を遂げた人馬が、改めて東海ファンにアピールしたことも見逃せなかった。ともに19年に重賞初制覇したニューヒーローで、馬はストーミーワンダー。8月くろゆり賞で東海王者カツゲキトキトを撃破し、すっかり“東海の顔”になりつつある。一方の人はデビュー3年目の渡邊竜也騎手。笠松リーディング3位にランクし、一流の証しでもある年間100勝越えを視界にとらえている(19年11月末現在)。

上昇一途のコンビは、12年エーシクールディ以来の笠松グランプリ地元馬優勝を合言葉に、積極戦で大いに沸かせた。ただ、ケイマを捕まえようと早めに仕掛けたのが裏目に出て、末脚を欠き4着に留まった。「直線まで待つ仕掛け



10月24日 オータムカップ ウインハピネス

ればもっといい勝負ができたかも……」と渡邊騎手は反省しきりだったが、師匠・笹野博司調教師は「勝ちに行った結果だからね。ロスはなかった」と健闘をねぎらった。レベルの高い人馬がそろった全国交流の舞台での見せ場十分の走りは“明日につながる”敗戦と言えた。ストーミーワンダーと、渡邊竜也騎手。今後も東海ファンにとって目の離せない両者である。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
10/24	オータムカップ(3歳以上)	1900	ウインハピネス(牡4)	岡部 誠	笠松・尾島 徹
11/7	ラブミーチャン記念(2歳牝)	1600	テーオーブルベリー(牝2)	川原正一	北海道・田中淳司
11/21	笠松グランプリ(3歳以上)	1400	ケイマ(牡6)	永森大智	高知・別府真司

名古屋競馬

場番号 43#

●出世レースに2強激突

毎月のように重賞や注目レースが実施された秋シーズン。しかし一番の熱視線を浴びたのは、東海地区の2歳重賞開幕戦・ゴールドウイング賞だった。18年の優勝馬エムエスクイーンが、33年ぶりに無敗で東海ダービーを制するなど名古屋3歳三冠の偉業をあっさり達成。17年のサムライドライブも駿蹄賞、秋の鞍の二冠を飾るなど、近年は三冠レースに直結する“出世重賞”となっているからでもある。

19年は人気2強が、記憶にも残るような激しい死闘で、ファンを興奮させた。逃げ切りを狙うインザフューチャー。そして2番手内から外に持ち出し、襲いか



10月17日 ゴールドウイング賞 インザフューチャー

かったエムエスオープン。2頭の若駒が、直線手前からゴールまで、意地とプライドをかけたデッドヒートを演じ続けた。直線半ばで一度はエムエスオープンが交わして先頭に躍り出る。しかしゴール寸前、戸部尚実騎手の連打した右ステッキに応じてインザフューチャーが盛り返す。そして2頭はほぼ同時にゴールイン。長い写真判定の末、わずかにハナ差、インザフューチャーがしのいで2歳重賞開幕戦を射止めてみせた。

「道中でトモを落としたんだ。何とか勝負根性で差し返せたね」と戸部騎手が息をつきながら振り返れば、川西毅調教師も「(プラス10キロの体重で)パドックで見ても重かった。スタートに反応も悪かった……。でも根性あるよね」と辛

写真●愛知県競馬組合



9月3日 秋の鞍 エムエスクイーン

勝に胸をなで下ろした。陣営にとって冷や汗ものの初タイトル獲得だったが、馬名通り“将来に”つながる勝負根性を持つスター候補が生まれたのは間違いのない。今年も、このまま順調にインザフューチャーが、3歳タイトルシーズンもリードしていだろうか。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	秋の鞍(3歳)	1800	エムエスクイーン(牝3)	今井貴大	名古屋・竹下直人
9/19	秋桜賞(3歳以上牝)	1400	ジェッシージェニー(牝4)	藤田 凌	大井・福永 敏
10/17	ゴールドウイング賞(2歳)	1600	インザフューチャー(牡2)	戸部尚実	名古屋・川西 毅
10/29	ゴールド争覇(3歳以上)	1400	ケイマ(牡6)	永森大智	高知・別府真司
11/14	東海菊花賞(3歳以上)	1900	グレイトパール(牡6)	倉富隆一郎	佐賀・川田孝好

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●役者揃いの短距離戦線

園田チャレンジカップは、9月6日、園田1400メートルに11頭(枠入り不良で1番枠キクノステラが競走除外)がスピードを競った。前走の笠松・サマーカップを逃げ切って初タイトルを奪取したエイシンエンジョイが11番枠からスタートを決めた。しかし、短距離の古馬重賞を2勝しているナチュラルリーが2番枠(実質最内枠)から主導権を奪った。「ナチュラルリーが行ったので腹をくくって2番手。最後はよく交わしてくれました」と語るエイシンエンジョイの下原理騎手。3番手につけたゴールドスークが直線で内を突いてナチュラルリーに並んだが、エイシンエンジョイが外からゴール前で鋭



9月6日 園田チャレンジカップ エイシンエンジョイ

く伸び3/4馬身交わして勝利した。

続く10月25日の1230メートル重賞・兵庫ゴールドカップは前走で久々を叩かれたナチュラルリーが逃げ切って連覇を達成し、園田チャレンジカップの雪辱も果たした。なおエイシンエンジョイは2番手を進んだが、田中学騎手のイルティモーネにも捕まって3着に敗れた。エイシンエンジョイ、ナチュラルリーに、ゴールドスーク、イルティモーネなどは、今年2020年は遠征競馬も含めて、地元でも増えた短距離重賞で活躍しそうだ。

さて、姫路競馬場は12年9月から防災工事(船場川調節施設等整備事業)及



10月25日 兵庫ゴールドカップ ナチュラルリー
びスタンド耐震改修工事に伴って休止していたが、今年1月15日から約7年半ぶりに再開される。そして重賞・白鷺賞がサラブレッドに移行した05年3月2日以来となる復活。1月30日に姫路2000メートルで行われる。

文●池永博省(大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/5	園田オータムトロフィー(3歳)	園田1700	テンマダイウエーブ(牡3)	杉浦健太	兵庫・新井隆太
9/6	園田チャレンジカップ(3歳以上)	園田1400	エイシンエンジョイ(牡4)	下原 理	兵庫・橋本忠明
9/26	園田プリンセスカップ(2歳牝)	園田1400	ステイローザ(牝2)	吉原寛人	船橋・矢野義幸
10/4	姫山菊花賞(3歳以上)	園田1700	ストームワンダー(牡5)	渡邊竜也	笠松・笹野博司
10/17	兵庫若駒賞(2歳)	園田1400	エキサイター(牡2)	吉村智洋	兵庫・長南和宏
10/25	兵庫ゴールドカップ(3歳以上)	園田1230	ナチュラルリー(牡5)	笹田知宏	兵庫・新子雅司
11/8	兵庫クイーンカップ(3歳以上牝)	園田1700	ヤマミダンス(牝5)	中島龍也	金沢・中川雅之
11/14	楠賞(3歳)	園田1400	リンゾウチャネル(牡3)	五十嵐冬樹	北海道・堂山芳則
11/27	兵庫ジュニアグランプリJpnII(2歳)	園田1400	テイエムサウスダグ(牡2)	M.デム-ロ	JRA・飯田雄三

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●秋もケイマのシーズン!

夏の短距離重賞であるトレノ賞、建依別賞で圧倒的な強さを見せたケイマが9月22日、1900メートルの第31回珊瑚冠賞に出走。未経験の距離に課題があったが、2着馬に1馬身差をつけて見事な重賞3連勝を飾った。その後は10月29日、名古屋のゴールド争覇、11月21日の笠松グランプリと遠征競馬でも強さを披露。笠松グランプリは大外枠スタートのため久々に番手の競馬になったが、何の問題もなく快勝を飾った。同レースは過去、高知勢はエブソムアールン、サクラレグナムでも勝てなかっただけに、今回はケイマがその雪辱を果たした格好となった。年明けからは、おそらく黒船賞



9月22日 珊瑚冠賞 ケイマ

JpnIIIに向けた路線となるのが濃厚。今の強さをキープできれば、今年こそその期待が高まってくるのは間違いない。

●出世レースを制したのはガンバルン!

11月24日に行われた第4回黒潮ジュニアチャンピオンシップは、高知デビュー馬限定の2歳重賞。過去3回の勝ち馬であるフリビオン、ヴァリヤンツリ、アルネゴーはその後、3歳重賞戦線で活躍しており、出世レースの趣がある。今年、そのコースに乗ったのはガンバルン。8月のデビュー以降は800メートル戦で負けなしの3連勝と好スタートを切ったが、1300メートルに距離が延びて以降は2、3着と失速。今回は初めて単勝1番人気を譲るかたちとなったが、抜群の



11月24日 黒潮ジュニアチャンピオンシップ ガンバルン
スタートから先手を奪い、悠々と押し切り勝利を飾った。先行有利の馬場状態が味方した面はあるが、減った馬体を戻して立て直した陣営の手腕も見事。今後はJRAや他地区からの転入馬との対戦でどこまで戦えるかがポイントになるが、高知デビュー馬として今後も活躍して欲しい一頭だ。

文●風間恒一(中島高級競馬場)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/1	黒潮菊花賞(3歳)	1900	ナンヨーオボロツキ(牝3)	赤岡修次	高知・雑賀正光
9/16	西日本ダービー(3歳)	1900	アルネゴー(牡3)	倉兼育康	高知・細川忠義
9/22	珊瑚冠賞(3歳以上)	1900	ケイマ(牡6)	永森大智	高知・別府真司
11/10	黒潮マイルチャンピオンシップ(3歳以上)	1600	ウォーターマーズ(セン5)	西川敏弘	高知・大関吉明
11/17	土佐秋月賞(3歳)	1600	モズヘラクレス(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守
11/24	黒潮ジュニアチャンピオンシップ(2歳)	1400	ガンバルン(牝2)	佐原秀泰	高知・國澤輝幸

佐賀競馬



場番号 61#

●各路線の有力馬は？

春に3歳二冠を制し、7月の佐賀王冠賞で古馬重賞も勝利したスーパージンガは、ロータスクラウン賞も好位から直線で楽々と抜け出して勝利。史上3頭目となる佐賀（九州）3歳三冠を達成した。その後は九州大賞典に出走し、古馬のトップに君臨するグレイトパールに挑戦。しかし、2周目向正面で先頭に立ったグレイトパールがスーパージンガに8馬身差をつけ圧勝し、古馬王者に軍配が上がった。

そのグレイトパールは、続いて東海菊花賞（名古屋）へ遠征し勝利。地方全国交流重賞初勝利を挙げ、佐賀では別格の存在といえるだろう。また、佐賀ヴィー



11月3日 佐賀オートムスプリント ドラゴンゲート

ナスカップを勝ち、夏場は休養したハッピーハッピーも、10月の戦線復帰後は2連勝と、中長距離路線では春の活躍馬が順調に秋を迎えている。佐賀記念JpnⅢへ向けて、充実した陣容で臨めそうだ。

古豪ウルトラカイザーは、19年は重賞勝ちこそないものの、8戦して7連対（3勝）と存在感を見せていたが、8月の宮之浦岳特別2着を最後に引退。明けて12歳での種牡馬入りとなった。前年覇者の同馬が不在となった佐賀オートムスプリントでは、7月の転入から4連勝でドラゴンゲートが圧勝。ウインターチャンピオンを目標に、当面は地元の短距離路線に専念する予定だ。

2歳路線は、佐賀デビュー馬ではミス



10月6日 九州ジュニアチャンピオン ミスカゴシマカゴシマが佐賀での5戦は全勝して九州ジュニアチャンピオンを制覇。その後は金沢シンデレラカップ（金沢）に遠征し、門別で重賞勝ちのあるミステリーベルン（北海道）の2着に健闘した。一方、他地区デビュー組では門別4戦1勝のリバイブが転入後3連勝でカペラ賞を勝利。花吹雪賞（3歳牝馬限定）で両馬の直接対決が大きな注目を集めそうだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2019年9月～2019年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/1	ロータスクラウン賞(3歳)	2000	スーパージンガ(牝3)	真島正徳	佐賀・渡辺博文
10/6	九州ジュニアチャンピオン(2歳)	1400	ミスカゴシマ(牝2)	石川慎将	佐賀・平山宏秀
10/20	九州大賞典(3歳以上)	2500	グレイトパール(牡6)	鮫島克也	佐賀・川田孝好
11/3	佐賀オートムスプリント(3歳以上)	1400	ドラゴンゲート(牡7)	鮫島克也	佐賀・三小田幸人
11/24	カペラ賞(2歳)	1800	リバイブ(牝2)	山口 勲	佐賀・東 眞市

競馬場別
騎手リーディング Top3

(2019年1月1日～11月11日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	840	170	105	77	20.2	32.7	44,063,000
2	阿部武臣	929	160	142	121	17.2	32.5	43,472,500
3	西 謙一	935	125	123	122	13.4	26.5	34,962,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	704	120	107	100	17.0	32.2	108,016,500
2	桑村真明	536	86	66	70	16.0	28.4	77,436,500
3	服部茂史	524	84	69	83	16.0	29.2	99,070,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	631	134	106	100	21.2	38.0	90,810,000
2	村上 忍	632	131	96	91	20.7	35.9	81,465,000
3	山本政聡	664	122	101	81	18.4	33.6	74,556,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	531	97	97	84	18.3	36.5	53,550,000
2	青柳正義	560	87	67	65	15.5	27.5	49,068,000
3	米倉 知	265	80	46	32	30.2	47.5	41,345,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	筒井勇介	563	105	74	76	18.7	31.8	40,622,500
2	佐藤友則	347	89	69	38	25.6	45.5	43,243,000
3	渡邊竜也	524	83	61	65	15.8	27.5	36,289,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	530	140	105	60	26.4	46.2	77,074,000
2	村上弘樹	682	101	107	82	14.8	30.5	67,773,000
3	大畑雅章	709	93	84	76	13.1	25.0	57,688,500

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1017	274	178	127	26.9	44.4	245,434,000
2	下原 理	985	213	144	122	21.6	36.2	201,885,000
3	田中 学	999	206	180	158	20.6	38.6	201,076,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	永森大智	616	164	123	88	26.6	46.6	107,668,000
2	赤岡修次	484	130	97	70	26.9	46.9	94,590,000
3	宮川 実	540	118	84	80	21.9	37.4	75,754,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	694	220	131	94	31.7	50.6	111,433,500
2	鮫島克也	530	101	88	65	19.1	35.7	72,217,000
3	倉富隆一郎	633	87	69	69	13.7	24.6	35,494,000

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

田中学騎手は12月3日に通算4000勝を達成。兵庫デビューの騎手としての最多勝利記録を塗り替え続けている。

ここまでいろいろとケガをしてきましたが、逆にケガをしていなかったら4000勝できていなかったんじゃないかと思うんですよ。若いころは“自分が自分が”みたいなところがありました。でも入院生活を送っているときに、いろんな人に助けられているんだということに気がついたんです。実際に自分だけの力ではどうにもならないのが競馬ですからね。

田中騎手はデビューからしばらくは中堅グループという成績。それが2004年に前年の99勝から200勝に飛躍。それ以降はほぼ毎年、年間200勝前後の勝ち星を挙げている。

2003年は、これを勝てば初めての年間100勝という大晦日の最終レースで、本命の馬で4着に負けてしまったんです。そのときの悔しさや情けなさといったらなかつたですね。それがあっての次の年。改めて、年間200勝は周りの人たちが達成させてくれたんだと思います。

田中騎手と同じように、2018年には吉村智洋騎手が一気に飛躍を見せた。

彼が勝ち星を増やしたのは、自分もそうでしたが、自信を持って乗れるようになったからじゃないかなと思いますね。いい馬に乗って結果を出して、それが次につながっていくという好循環。それが大きいと思います。あとはタイミングですね。僕のとくも小牧太さんがJRAに移って、その分が誰に回るのかというところがありました。

吉村騎手の場合は、木村健騎手の引退が飛躍のタイミングに一致したところがあるのかも知れない。

木村騎手とレースに乗っていたときは、本当に楽しかったですよ。彼がいたからこの数字、そしてリーディングにはこだわりました。もちろん、今もリーディングを目指していないわけではないのですが、以前とは違う感覚かな。気持ちに余裕みたいなものがあると言いますか。今はその馬にとって、いいと思えるレースをしようという考えのほうが大きい感じがします。だから今は、以前とは違う楽しさがありま



写真●NAR

ハイパーフォルテで兵庫ダービー3勝目を挙げた

す。それでも「このレースはどうやったら勝てるのか」ということはすごく考えていますよ。だから、ハナ差やクビ差で負けた騎手がレース直後にヘラヘラしているのを見ると、ちょっとムカつきますね(笑)。あのロスがなければとか、そういうことを考えたり反省したりしないのかと。

その気持ちが見え続けている原動力のひとつなのだろう。2019年も多くの重賞を制している。

ジンギは兵庫ダービーで4着でしたが、あのときは夏負けになりかかっていたんです。それをテツも担当している大ベテランの厩務員さんがうまく仕上げてくれました。まだ馬体には成長の余地がありますが、とても乗り味がいい馬。でもダービーのときはハミを取ってくれなくて、気持ちの幼さが出た感じがありました。勝つつもりで臨んでの4着でしたが、自分としては最善を尽くした結果の4着だったと思っています。

田中騎手はサラブレッド導入後の兵庫ダービーを3勝。そのなかには姫路競馬場で行われた2010年も含まれている。

ハイパーフォルテは重賞になると善戦までという成績でしたが、ダービーでは逆転できると自信を持って乗ることができました。(1番人気の)フィオーレハーバーにはそれまで1回も先着したことがなかったのですが、その実力差が縮まってきているという手応えがありましたから。

ダービーの優勝騎手もそうだが、兵庫は勝ち星が数名の騎手に集中する傾向が強い。

そこは昔からですね。でも自分としては、後輩たちがどんどん上がってきてほしいんですよ。西脇所属のなかでもセンスがある騎手はいます。でもなかなかきっかけがね……。だからそういう連中に対しては、レース後にキツク言うこともありますよ。

そういう気持ちはありつつも、最近3年は年間200勝以上という成績を守っている。

今は体のこともありますが、攻め馬はそれほどしてなくて、レースに専念できる環境にしてもらえているのでありがたいです。それでもまだ、クセが強い馬とかむずかしい面がある馬とか、頼まれますからね。そこは経験が活きたころだと思います。馬って、やり方ひとつで変わるんですよ。そういう馬をどうやって勝てるようにしていくか。そう考えられる気持ちがある限りは、騎手を続けられるのかなと思います。あとは違う競馬場にもっと行きたいですね。兵庫ジュニアグランプリを勝ったジャウマナラシで南関東の重賞に何回か乗りましたが、最近は無沙汰なんですよ。自分としては、呼ばれればどこでも行くという気

田中学 (兵庫)

たなか まなぶ



1973年9月25日生まれ てんびん座 AB型
 兵庫県出身 田中道夫厩舎
 初騎乗/1993年4月15日
 地方通算成績/23,551戦4,001勝
 服色/緑・赤菱山形
 重賞勝ち鞍/兵庫ジュニアグランプリ、兵庫ダービー(3回)、菊水賞(2回)、オズパークグランプリ、園田ジュニアカップ(5回)、兵庫大賞典(3回)など53勝

※2019年12月3日終了時点

持ちです。

田中騎手はデビューから27年。その間には売り上げが下がり、賞金も下がる厳しい時期があった。

そのときに離れていった人もたくさんいますし、残った人のなかには“生活ができればいいや”みたいな気持ちで仕事している人もいたと思います。僕は競馬が好きとか騎手が好きとか、それだけではなくて、いつかはいい時代がまたやってくるはず、そういう思いを持って、やっていたね。それが2019年度から重賞の1着が最低でも500万円になってね。兵庫ダービーの賞金も一気に増えましたし、なんというか、夢があるじゃないですか。そこは電話投票やネットのおかげだなと感じます。

さて2020年1月15日からは、姫路競馬が再開される。2012年8月30日以来だから7年半ぶりだ。姫路競馬場で思い出すのはどんなところだろうか。

姫路は直線が園田よりも長いんですが、カーブがきついので先行馬が有利という感じがあります。園田はゴール前で5頭6頭が横一線になることがあります。姫路ではそういう感じにはなりにくいですが、ただ、姫路は園田と違って調教で使わないので、路盤がきれいな方がいいところ。でもインコースの砂を深くするのか均一にするのか、現時点ではわからないので、どういう競馬になるのか、今はなんとも言えないなあ。僕としては、水はけが良くなってほしいと思います。以前の姫路は雨が降るとドロドロになってしまって、滑りやすくて危なかったんです。それとジョッキーエリア。施設が古くて、お風呂では茶色のお湯が出てくるとか、レースの間に休む場所がポロポロとか、いろいろとひどかったんです。そこが改善されていけばありがたいと思います(笑)。

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

取材・文●浅野靖典

まずは大ベテランに聞き込み

姫路競馬場での開催は7年半ぶり。まずは開催日数が多かった頃も知っている、元騎手の三野孝徳さんにその特徴を伺った。

「姫路を嫌がる騎手もいましたけれど、僕は重賞も勝っていますし、自分としては得意なほうでした。パツと思ひ浮かぶ特徴としては、直線が長い分、スタートしてから1コーナーまでに隊列が決まりやすいということかな。そして直線が長いから、差し馬は3コーナーから仕掛けても間に合うケースが多いです。コースは全体的に平坦ですが、3コーナーの手前がちょっと上り坂になっているんですよ。僕の時代は“上りで押すな”がセオリーでした。30年くらい前は全体的に早仕掛けの傾向がありましたから、僕は“むしろそこでガマンしろ”と言われていました。カーブは急ですから1コーナーで突っ張っていくと外に膨らみやすくなりますし、最後まで脚がもたなくなることも。だから園田でしか乗ったことがない騎手は、最初のうちは苦労するんじゃないかな。それと移動ですね。園田からは1時間20分くらいですが、園田所属の騎手は今までと違う生活リズムになりますから、これも慣れるまで苦労すると思います」

橋本忠男元調教師も「馬場は大きくても急カーブだから前に行く馬が有利。昔は3コーナーの上りのところまでは我慢しろと、みんな話していましたね」とのこと。(スパイラルカーブの)園田よりもカーブがきついぶん、それに合った乗りかたが必要になるのだろう。

川原正一騎手も「1コーナーと3コーナーの入りかたには気をつけていましたね。園田とは違って急にカーブが来ますから、コーナーに入る前にどれだけ馬に負担をかけないで減速できるかが勝負。それがうまくできないと、手応えがある馬に外から交わされてしまいます」と話していた。

急カーブに要注意!

ここまでの3名から聞かれた共通のキーワードは“カーブがきつい”。それに対してネガティブな考えを持っている騎手もいる。下原理騎手からは「3コーナーで横に4頭くらいが並ぶ展開になると本当に危険」という話。「1コーナーでまっすぐ行ってしまうようになる馬もいます」とは竹

村達也騎手。また中田貴士騎手は「僕は2番手につけるといいというイメージがあります。カーブがきついので、逃げ馬の内側にスペースができることが多いんです。ただ、そう思って進んだら、インを閉められて落馬したことがあります。逆に4コーナーで外にふっ飛んだこともあります。僕は姫路競馬場のむずかしさを、身をもって分かっていますよ」と苦笑いしていた。

競馬場を俯瞰で見ている人はどういうイメージを持っているのだろうか。実況アナウンサーの竹之上次男さんは「さえぎるものがなくて向正面が近いから、実況しやすい競馬場ですね(笑)。カーブがきついので、後方からの馬は向正面で追いつけていかないと間に合わない感じがあります。それよりも、今度の姫路競馬はスマホが普及してから初めての開催。だから馬券の売れかたが以前とは違う感じになると思うんですよ。そこを含めて楽しみにしています」とのことだった。

若手騎手にも聞いてみよう。鴨宮祥行騎手は「僕がデビューした年の夏は、ずっと姫路だったんですよ。減量騎手でしたから15勝くらいさせてもらえましたし、いい思い出がありません。勝ったレースはほとんどが先行策か逃げ切りでした。僕としてはいいイメージで姫路開催に入れます」とのこと。杉浦健太騎手は「重要なのはコーナリング。園田よりもカーブでのロスを少なくするように気をつけたいといけないというイメージがあります。ただ、そのときはデビューして2年目くらい。そのときより技術が上がってれば、姫路コースに対応できるかな」



写真●斎藤修

7年半ぶりの開催の前に馬場改修中の姫路コース

ただ「初めてという騎手もいますし、心配ですね」と大山真吾騎手が話したように“やってみないと分からない”ところはあるようだ。また、普段は輸送しないで出走している園田所属の馬にも要注意。三野さんは「姫路開催が多くあった僕らの頃でも、園田の馬は物見が多かった印象があります。でも、なかには姫路のほうが力を発揮できる馬がいるんですよ。腰が緩い馬が輸送しているうちにシャキッとすることがあるみたいで(笑)」

姫路開催がスタートしてからは、そのあたりにも注意しておくほうがいいのかもしれない。

ところで姫路競馬場で実施されるレースは、大半が1400mまたは1500m。「その差は100mですが、これがけっこう大きいんです。1400mだと前に行った馬がそのまま残ることが多いと思うのですが、それが1500mになると前半のペースが速くなりがち。そうすると、後方からの馬が意外なくらいに届くんです。園田でインコースの砂が深いとき、外を回った差し馬がメチャメチャ届いていましたが、そのイメージですね。だから今度の姫路開催が内を深めにするようだったら、なおさら1500mはそんな感じになるのかも。ファンのみなさんはそこに気をつけていただくといいかもしれません」と下原理騎手。開催初日の競馬がどうなるのか興味深い。開催が進んだときにレース内容がどう変わるのか。そこに注目するのも面白そうだ。

姫路競馬場



1月→3月 注目レース 園田・姫路競馬 データ分析

年明けの兵庫競馬は、例年どおり1月2日の園田競馬から始まる。なお、姫路競馬が2012年8月以来、約7年半ぶりに再開され、1月15日から2月6日までの2開催・

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬(所属)
1/3(金)	新春賞(4歳以上)	園田1870m	エイシンニシパ(兵庫)
1/9(木)	園田クイーンセレクション(3歳牝)	園田1400m	アリアナティエ(兵庫)
1/30(木)	白鷺賞(4歳以上)	姫路2000m	※2005年以降の実施
2/19(水)	園田ユースカップ(3歳)	園田1400m	ジンギ(兵庫)
2/20(木)	園田ウインターカップ(4歳以上)	園田1400m	ナチュラルリー(兵庫)

12日間にわたって開催される。

古馬中長距離路線の重賞は、1月3日に実施されるハンデ戦・新春賞から、姫路2000mで争われる白鷺賞、そして5月の兵庫大賞典、6月の六甲盃へとつながっていく。また短距離路線は、2月の園田ウインターカップからスタート。

3歳路線は19年に見直しが行われ、牝

馬による1月の園田クイーンセレクションは従来どおりだが、2月には牡・牝混合の園田ユースカップが重賞として復活。昨年の勝ち馬ジンギは、三冠初戦である菊水賞も制した。

ここでは、12年以降、過去8回の新春賞、園田クイーンセレクションの結果から傾向を探っていく。

1/3 新春賞

●荒れるお年玉レース

◇1番人気は2勝、2着1回のみ。1勝、2着3回、3着1回の2番人気、1勝、2着2回、3着1回の3番人気のほうが馬券に絡んでいる数は多い。なお5番人気は2勝、2、3着各1回、6番人気以下も1勝、2着1回、3着4回と人気薄の好走も目立ち、3連単では7→5→6番人気で決まった15年の27万9970円を筆頭に、

6桁配当が3回、5桁配当が3回と、ハンデ戦らしく荒れる傾向がある。

◇勝ち馬は4～7歳で、なかでも3勝ずつの5歳と6歳が好相性。8歳以上は2、3着に3頭ずつ入っているが、いずれもハンデ56キロ以上で、過去に重賞勝ちなどがある実績馬ばかりだった。

◇前走レース別で最多の39頭が出走していたのが園田金盃(園田1870m)。同レースからの参戦で3着以内に入った11頭中10頭は、園田金盃(牡馬56キロの

定量)から負担重量が重くなって臨んでおり、重量が軽くなっていたのは、15年2着ニシノイーグルのみ。11頭中7頭は園田金盃3着以内で、掲示板外から巻き返したのは2頭のみとなっている。

◇前走が園田金盃以外の馬では、その他の重賞(他地区も含む)出走馬が5頭、園田A級戦の1着馬も6頭馬券に絡んでいる。牝馬で3着以内に入った2頭はともに前走が兵庫クイーンカップだった。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.1.3 園田1870m 晴・稍重 12頭	1	1	エイシンニシパ(兵庫)	牡	6	57	吉村智	橋本明	2.03.0	1	3-3-1-1	園田金盃②	名古・東海菊花賞⑩
	8	12	キノソル(兵庫)	牡	9	57	田中学	田中範	2 1/2	2	6-6-4-3	園田金盃③	園田・A1特別②
	5	6	キヨマサ(兵庫)	牡	7	53	川原正	松浦聡	2	6	4-4-2-2	園田・A1特別④	園田・A1特別③
18.1.3 園田1870m 晴・稍重 12頭	2	2	マイタイザン(兵庫)	牡	5	56.5	杉浦健	新井隆	2.03.6	3	1-1-1-1	園田金盃③	園田・A1特別①
	3	3	エイシンホトセイ(兵庫)	牡	7	53	笹田知	新子雅	アタマ	7	6-6-6-5	摂津盃⑤	園田・A1特別②
	7	10	キノソル(兵庫)	牡	8	56	川原正	田中範	2 1/2	4	7-7-3-3	J東京・ブラジルC(OP)⑨	J阪神・シリウスSGⅢ⑫
17.1.3 園田1870m 晴・良 12頭	8	11	エイシンニシパ(兵庫)	牡	4	55	吉村智	橋本忠	2.01.9	2	4-4-2-2	笠松・笠松GP⑦	笠松・岐阜金賞①
	3	3	タガノトリオンフ(兵庫)	牝	5	55	下原理	新子雅	ハナ	3	3-3-4-3	兵庫クイーンC①	姫山菊花賞④
	5	6	アサクサセーラ(兵庫)	牡	4	53	杉浦健	保利良	2 1/2	5	2-2-1-1	園田・A2特別①	園田・A2特別④

1/9 園田クイーンセレクション

●兵庫所属は地元デビュー馬優勢

◇1番人気は3勝、2着3回、3着1回で信頼度が高い。2番人気も2勝、3着2回とまずまずだが、3番人気は3着2回のみと苦戦傾向。3着以内馬24頭中20頭は5番人気以内で、3連単では17年は16万8050円、18年も44万1160円と荒れたが、4桁配当が5回ある。

◇北陸・東海地区との交流重賞で、地元兵庫が5勝、2着7回、3着6回と好成績。

しかし1～3着を独占したのは15、19年の2回だけとなっている。遠征勢では、笠松は2着1回、3着2回(着外23頭)だが、名古屋の3勝(着外1頭)は際立つ。なお冬季休催中の金沢からの参戦はなかった。

◇兵庫所属の3着以内馬18頭のデビュー地は門別が5頭で、園田が13頭。その13頭の前走内訳は、園田ジュニアカップ(園田1700m・兵庫デビュー馬限定)が7頭で、すべて同2～5着からの参戦(※園田ジュニアカップは牡・牝混合で

03年以降、牝馬は勝っていない)だった。15年は園田ジュニアカップ2着のトーコーヴィーナスが1着、同4着ポムショコラが3着と、3着以内に2頭が入線している。また前走JRA認定競走1着馬も3頭いる。

◇馬券に絡んだ遠征馬6頭は、すべて門別でデビューし、うち4頭が前走で東海地区の重賞を使われていた。13年1着ピッチシフターは、エーデルワイス賞JpnⅢ・2着で前走ライデンリーダー記念から連勝を決めている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.1.17 園田1400m 晴・良 12頭	5	6	アリアナティエ(兵庫)	牝	3	54	大山真	保利平	1.32.1	2	10-10-9-7	園田・JRA認定①	園田・JRA認定⑥
	5	5	リリコ(兵庫)	牝	3	54	吉村智	田中範	クビ	1	8-8-6-4	園田ジュニアC②	園田・JRA認定②
	6	8	アークダイヤ(兵庫)	牝	3	54	廣瀬航	田中一	4	6	5-5-4-5	園田・JRA認定③	※北海道デビュー
18.1.18 園田1400m 晴・不良 12頭	8	12	スウォナーレ(兵庫)	牝	3	54	大山真	坂本和	1.30.0	9	11-11-11-4	園田・JRA認定①	園田・JRA認定③
	1	1	ミネオラチャン(兵庫)	牝	3	54	赤岡修	保利平	3/4	5	10-10-6-1	園田ジュニアC③	園田・JRA認定⑥
	4	4	スリルトサスペンス(笠松)	牝	3	54	佐藤友	湯前良	2 1/2	2	6-6-5-7	J阪神・2歳500万⑨	※北海道デビュー
17.1.19 園田1400m 晴・良 12頭	5	6	カツゲキマドンナ(名古屋)	牝	3	54	木之葵	錦見勇	1.32.3	5	3-3-3-3	笠松・ライデンリーダー記念⑤	※北海道デビュー
	8	12	スターレーン(兵庫)	牝	3	54	赤岡修	松浦聡	ハナ	1	2-2-2-1	園田・JRA認定②	※北海道デビュー
	7	10	チョウキャプテン(兵庫)	牝	3	54	永島太	田中道	1/2	7	1-1-1-1	園田・3歳1組⑥	※北海道デビュー

我ら競馬場のアイドル

写真●兵庫県競馬組合

そのたん・ひめたん & SKNフラッシュ8

(そのだ・ひめじ競馬)

そのだ競馬の公式キャラクター「そのたん」は、そのだ金曜ナイト初日の2013年4月5日にデビュー。活躍の場を競馬場外へも広げ、兵庫競馬のPRに東奔西走しています。そして19年3月21日にお披露目されたのが、ひめじ競馬公式キャラクターの「ひめたん」。チャームポイントはポニーテールに大きなリボン、かわいいまつ毛。ダンスパーティーでそのたんに声をかけられて一緒に帰ってきた、というエピソード

があるとかないとか……。そのたん、ひめたんとも両掌には幸運の★が！タッチすると、いいことがあるかも。

そして、そのだ・ひめじ競馬のアイドルとって忘れてならないのが「SKNフラッシュ8」。命名は“その金ナイト（SKN）の闇を裂く8名の閃光（フラッシュ）”から。



13年にデビューし、リーダーの佐藤夢さんと、神崎まなみさんは初年度からのオリジナルメンバー。そのだ金曜ナイトとともに歴史を重ねてきました。SKNフラッシュ8&そのたん・ひめたんが人馬一体となって、さらに兵庫競馬を盛り上げていきます。

重賞クローズアップ 1/30 白鷺賞

1月30日に姫路競馬で実施される白鷺賞は、世界遺産・姫路城の別称である白鷺城にその名を由来。2003年9月、アラブ系限定として兵庫で最後に実施された重賞は、サラ系のレースとして行われた05年3月を最後に休止していたが、15年ぶりの復活となる。兵庫の中長距離路線は、1

月の新春盃の次に実施されていた3月の六甲盃が、19年度から6月に移設。白鷺賞は3月時の六甲盃と同じく北陸・東海地区との交流で争われる。定量戦のため、ハンデ戦の新春賞からの巻き返しや、ほぼ同時期に行われる地方全国交流の梅見月杯（名古屋）との相手関係を考慮し出走してきた遠征勢にも警戒が必要かもしれない。



1995年白鷺賞はリキセイコー(中)が重賞初制覇

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

兵庫若駒賞 エキサイター

2017年3月15日生まれ 牡 鹿毛 兵庫・長南和宏厩舎 生産・ダイヤモンドファーム(浦河郡浦河町)

パルシャザール 青鹿毛2008	キングカメハメハ 鹿毛2001	Kingmambo マンファス(IRE)
	マルカキャンディ 青鹿毛1996	サンデーサイレンス(USA) ジーナロマンティカ(USA)
フィールドスピカ 鹿毛2007	パラダイスクリーク(USA) 鹿毛1989	Irish River North of Eden
	フィールドブーケ 鹿毛1997	ジェネラス(IRE) ラッピング(USA)

デビュー戦から3馬身、大差、8馬身、大差の圧勝続きで4連勝。JRAの2歳オープン・野路菊Sで3着に入った後、兵庫若駒賞を勝ったエキサイター。デイリー杯2歳Sでは10着に敗れたが、今後の兵庫競馬の中心になりうる素質馬だ。

父パルシャザールは2013年のジャパンCダート勝ち馬。3歳時は日本ダービー3着、スプリングS2着などクラシック戦線を歩んでいたが、骨折で長期休養を余儀なくされ、復帰した5歳時からはダート戦に出走。秋の武蔵野Sで重賞初制覇を飾り、続くジャパンCダート(阪神・ダート1800m)を勝ちGIホースとなった。

2015年に安平・社台スタリオンステー

ションで種牡馬入り。2年間の繋養後、日高・ブリーダーズスタリオンステーションに移動し、初年度産駒は2018年にデビュー。19年は2歳世代が好調で、本馬の他にもネーロルチエンテ(門別・プロッサムC)、グランコージー(盛岡・若駒賞)と、早くも3頭の重賞ウイナーを送っている。JRAでは2世代で18頭が勝ち上がり、4頭の2勝馬が登場。ダートの勝ち馬が多いが、芝2000mの新馬戦で5馬身差の圧勝を見せたキングリステリアなども出ている。

エキサイターの母フィールドスピカはホッカイドウ競馬で1勝し、JRAの芝1400m戦で2着の実績もある馬。産駒にはJRAのダート1200mで2勝したフィールドスラッピー(父ヴァーミリアン)、金沢で3勝の現役馬チジョウノホシ(父ストーミングホーム)がいる。

母の父パラダイスクリークはアーリントンミリオンなど米国で芝9~10FのGIを4勝し、ジャパンCではマーベラスクラウンの2着に入った馬。産駒には阪神ジュベナイルフィリーズのテイテムプリキュア、10歳にして小倉大賞典を勝つなど重賞3勝のアサカディフィートなどの他、帝王賞のカネツフルーヴなどダートの活躍馬も多く出し、母の父としてもジャパンダート



園田では無敗で兵庫若駒賞を制したエキサイター

ダービーのキョウエイギア(父ディーブスカイ)を出し、ユニコーンSのナイキアスワーク、シリウスSのドラゴンファイヤーの兄弟(2頭とも父ブライアンズタイム)も送っており、母系に入るとダート色が強まるようだ。

牝系を遡ると、5代母ディサプリンから広がるファミリーには高松宮記念のキングヘイロー、その母で米GI7勝の名牝グッバイヘイローが、6代母レディビーグッドから広がるファミリーには英ダービー馬モチヴェーター、英年度代表馬ジルザルなどが出ている世界的名門だ。

エキサイターの血統表を改めて眺めると、父が芝のトップクラスでも走ったパルシャザール、母の父が米芝GI馬パラダイスクリーク、そして祖母の父が英ダービー馬ジェネラスと、芝の中長距離血統が並んでいる。デイリー杯2歳Sでは大敗を喫したが、芝適性には裏付けがあり、今後の楽しみは大きく広がりそうだ。

DIRT GRADE DATA 作戦

<p>第23回 TCK女王盃 JpnⅢ 1月22日(水) 4歳以上牝馬 大井1800m 1着賞金2200万円 フルゲート16頭</p>	<table border="1"> <tr> <td>19.1.23 大井 1800m 晴・良</td> <td> 1① 1 ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1.53.3 6人気 2② マルカンセンジャー(大井) 牝4 54 の場文男 5 9 5⑥ ラビットラン(JRA) 牝5 56 M.デムーロ 1 3/4 1 単勝①2,760円 枠連復(1-2)36,810円 馬連復(1-2)84,220円 枠連単(1-2)122,630円 馬連単(1-2)352,630円 3連復(1-2-6)43,330円 3連単(1-2-6)997,380円 </td> </tr> <tr> <td>18.1.24 大井 1800m 晴・不良</td> <td> 7⑫ ミッシングリング(JRA) 牝4 54 戸崎圭太 1.53.9 2人気 8⑭ プランシェール(JRA) 牝5 54 三浦皇成 2 4 6⑪ ラインハート(大井) 牝7 55 笹川 翼 1 1/2 6 単勝⑩500円 枠連復(7-8)3,840円 馬連復(12-14)3,680円 枠連単(7-8)5,840円 馬連単(12-14)6,420円 3連復(11-12-14)15,310円 3連単(12-14-11)69,010円 </td> </tr> <tr> <td>17.1.25 大井 1800m 晴・良</td> <td> 6⑦ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 1.54.1 2人気 6⑧ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 3/4 7 7⑨ ホワイトフーガ(JRA) 牝5 58 蛸名正義 アタマ 1 単勝⑦570円 枠連復(6-6)8,310円 馬連復(7-8)10,450円 枠連単(6-6)7,490円 馬連単(7-8)17,900円 3連復(7-8-9)3,870円 3連単(7-8-9)39,960円 </td> </tr> </table>	19.1.23 大井 1800m 晴・良	1 ① 1 ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1.53.3 6人気 2 ② マルカンセンジャー(大井) 牝4 54 の場文男 5 9 5 ⑥ ラビットラン(JRA) 牝5 56 M.デムーロ 1 3/4 1 単勝①2,760円 枠連復(1-2)36,810円 馬連復(1-2)84,220円 枠連単(1-2)122,630円 馬連単(1-2)352,630円 3連復(1-2-6)43,330円 3連単(1-2-6)997,380円	18.1.24 大井 1800m 晴・不良	7 ⑫ ミッシングリング(JRA) 牝4 54 戸崎圭太 1.53.9 2人気 8 ⑭ プランシェール(JRA) 牝5 54 三浦皇成 2 4 6 ⑪ ラインハート(大井) 牝7 55 笹川 翼 1 1/2 6 単勝⑩500円 枠連復(7-8)3,840円 馬連復(12-14)3,680円 枠連単(7-8)5,840円 馬連単(12-14)6,420円 3連復(11-12-14)15,310円 3連単(12-14-11)69,010円	17.1.25 大井 1800m 晴・良	6 ⑦ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 1.54.1 2人気 6 ⑧ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 3/4 7 7 ⑨ ホワイトフーガ(JRA) 牝5 58 蛸名正義 アタマ 1 単勝⑦570円 枠連復(6-6)8,310円 馬連復(7-8)10,450円 枠連単(6-6)7,490円 馬連単(7-8)17,900円 3連復(7-8-9)3,870円 3連単(7-8-9)39,960円	<p>●JBCレディスクラシック組の取捨がカギ 前年のJBCレディスクラシック好走馬が出てくるケースが多く、その取捨が大きなカギになる。2016年はホワイトフーガが1番人気に応じて勝利したが、過去3年は逆の結果となっている。19年はラビットランが3着には入ったが、断然人気を裏切ったかたちだ。それに乗じて好走を果たしているのが、地元大井の馬。19年はマルカンセンジャー(9番人気)が2着、18年はラインハート(6番人気)が3着、17年はリンダリンド(7番人気)が2着と好走。ダートグレード実績に関係なく穴をあけている。中央勢は実績も大事だが、好調で勢いがある馬も見逃せない。</p>				
19.1.23 大井 1800m 晴・良	1 ① 1 ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1.53.3 6人気 2 ② マルカンセンジャー(大井) 牝4 54 の場文男 5 9 5 ⑥ ラビットラン(JRA) 牝5 56 M.デムーロ 1 3/4 1 単勝①2,760円 枠連復(1-2)36,810円 馬連復(1-2)84,220円 枠連単(1-2)122,630円 馬連単(1-2)352,630円 3連復(1-2-6)43,330円 3連単(1-2-6)997,380円											
18.1.24 大井 1800m 晴・不良	7 ⑫ ミッシングリング(JRA) 牝4 54 戸崎圭太 1.53.9 2人気 8 ⑭ プランシェール(JRA) 牝5 54 三浦皇成 2 4 6 ⑪ ラインハート(大井) 牝7 55 笹川 翼 1 1/2 6 単勝⑩500円 枠連復(7-8)3,840円 馬連復(12-14)3,680円 枠連単(7-8)5,840円 馬連単(12-14)6,420円 3連復(11-12-14)15,310円 3連単(12-14-11)69,010円											
17.1.25 大井 1800m 晴・良	6 ⑦ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 1.54.1 2人気 6 ⑧ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 3/4 7 7 ⑨ ホワイトフーガ(JRA) 牝5 58 蛸名正義 アタマ 1 単勝⑦570円 枠連復(6-6)8,310円 馬連復(7-8)10,450円 枠連単(6-6)7,490円 馬連単(7-8)17,900円 3連復(7-8-9)3,870円 3連単(7-8-9)39,960円											
<p>第69回 川崎記念 JpnI 1月29日(水) 4歳以上 川崎2100m 1着賞金6000万円 フルゲート14頭</p>  <p>写真●斎藤修</p>	<table border="1"> <tr> <td>19.1.30 川崎 2100m 晴・良</td> <td> 6⑥ ミツバ(JRA) 牡7 57 和田竜二 2.15.0 3人気 2② ケイティブレイブ(JRA) 牡6 57 福永祐一 2 1/2 1 7⑧ オールブラッシュ(JRA) 牡7 57 田邊裕信 アタマ 2 単勝⑥700円 枠連復(2-6)280円 馬連復(2-6)270円 枠連単(6-2)1,410円 馬連単(6-2)1,240円 3連復(2-6-8)220円 3連単(6-2-8)2,960円 </td> </tr> <tr> <td>18.1.31 川崎 2100m 晴・稍重</td> <td> 6⑥ ケイティブレイブ(JRA) 牡5 57 福永祐一 2.14.9 1人気 7⑦ アポロケンタッキー(JRA) 牡6 57 内田博幸 1 1/2 4 3③ アウオーディー(JRA) 牡8 57 武 豊 1 3 単勝⑥270円 枠連復(6-7)680円 馬連復(6-7)810円 枠連単(6-7)1,170円 馬連単(6-7)1,480円 3連復(3-6-7)1,040円 3連単(6-7-3)4,680円 </td> </tr> <tr> <td>17.2.1 川崎 2100m 晴・良</td> <td> 7⑨ オールブラッシュ(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.14.6 5人気 8⑫ サウンドトゥルー(JRA) 牡7 57 大野拓弥 3 1 4④ コスモカナディアン(JRA) 牡4 56 柴田大知 1 1/2 6 単勝⑨1,820円 枠連復(7-8)1,020円 馬連復(9-12)1,760円 枠連単(7-8)2,510円 馬連単(9-12)4,730円 3連復(4-9-12)9,410円 3連単(9-12-4)70,890円 </td> </tr> <tr> <td>16.1.27 川崎 2100m 晴・良</td> <td> 8⑫ ホッコータルマエ(JRA) 牡7 57 幸 英明 2.14.1 1人気 1① サウンドトゥルー(JRA) 牡6 57 大野拓弥 アタマ 2 2② アムールブリエ(JRA) 牝5 55 濱中 俊 4 3 単勝⑩210円 枠連復(1-8)170円 馬連復(1-12)180円 枠連単(8-1)350円 馬連単(12-1)370円 3連復(1-2-12)340円 3連単(1-2-1)1,160円 </td> </tr> <tr> <td>15.1.28 川崎 2100m 晴・重</td> <td> 5⑤ ホッコータルマエ(JRA) 牡6 57 幸 英明 2.16.9 1人気 8⑪ カゼノコ(JRA) 牡4 56 秋山真一郎 3/4 3 7⑩ サミットストーン(船橋) 牡7 57 石崎 駿 1 1/2 6 単勝⑤100円 枠連復(5-8)450円 馬連復(5-11)450円 枠連単(5-8)480円 馬連単(5-11)500円 3連復(5-10-11)720円 3連単(5-11-10)1,640円 </td> </tr> </table>	19.1.30 川崎 2100m 晴・良	6 ⑥ ミツバ(JRA) 牡7 57 和田竜二 2.15.0 3人気 2 ② ケイティブレイブ(JRA) 牡6 57 福永祐一 2 1/2 1 7 ⑧ オールブラッシュ(JRA) 牡7 57 田邊裕信 アタマ 2 単勝⑥700円 枠連復(2-6)280円 馬連復(2-6)270円 枠連単(6-2)1,410円 馬連単(6-2)1,240円 3連復(2-6-8)220円 3連単(6-2-8)2,960円	18.1.31 川崎 2100m 晴・稍重	6 ⑥ ケイティブレイブ(JRA) 牡5 57 福永祐一 2.14.9 1人気 7 ⑦ アポロケンタッキー(JRA) 牡6 57 内田博幸 1 1/2 4 3 ③ アウオーディー(JRA) 牡8 57 武 豊 1 3 単勝⑥270円 枠連復(6-7)680円 馬連復(6-7)810円 枠連単(6-7)1,170円 馬連単(6-7)1,480円 3連復(3-6-7)1,040円 3連単(6-7-3)4,680円	17.2.1 川崎 2100m 晴・良	7 ⑨ オールブラッシュ(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.14.6 5人気 8 ⑫ サウンドトゥルー(JRA) 牡7 57 大野拓弥 3 1 4 ④ コスモカナディアン(JRA) 牡4 56 柴田大知 1 1/2 6 単勝⑨1,820円 枠連復(7-8)1,020円 馬連復(9-12)1,760円 枠連単(7-8)2,510円 馬連単(9-12)4,730円 3連復(4-9-12)9,410円 3連単(9-12-4)70,890円	16.1.27 川崎 2100m 晴・良	8 ⑫ ホッコータルマエ(JRA) 牡7 57 幸 英明 2.14.1 1人気 1 ① サウンドトゥルー(JRA) 牡6 57 大野拓弥 アタマ 2 2 ② アムールブリエ(JRA) 牝5 55 濱中 俊 4 3 単勝⑩210円 枠連復(1-8)170円 馬連復(1-12)180円 枠連単(8-1)350円 馬連単(12-1)370円 3連復(1-2-12)340円 3連単(1-2-1)1,160円	15.1.28 川崎 2100m 晴・重	5 ⑤ ホッコータルマエ(JRA) 牡6 57 幸 英明 2.16.9 1人気 8 ⑪ カゼノコ(JRA) 牡4 56 秋山真一郎 3/4 3 7 ⑩ サミットストーン(船橋) 牡7 57 石崎 駿 1 1/2 6 単勝⑤100円 枠連復(5-8)450円 馬連復(5-11)450円 枠連単(5-8)480円 馬連単(5-11)500円 3連復(5-10-11)720円 3連単(5-11-10)1,640円	<p>●前走東京大賞典で連対しているかが重要 年明け最初のダートGI/JpnI。翌月にフェブラリーステークスが控えており、そちらを狙う馬が使ってくるケースは少ない。実績馬は分散し、こちらは明確に2000m以上が合っている馬が回ってくる。近年はホッコータルマエが3連覇(2014~16年)を達成。いずれの年も前走は東京大賞典で連対しており、ここは1番人気に支持された。 一方、過去3年は前走東京大賞典で3着だったサウンドトゥルー(17年)、ケイティブレイブ(18~19年)が1番人気に支持された。18年のケイティブレイブは勝利しているが、サウンドトゥルーと、19年のケイティブレイブは勝つことができなかった。前走東京大賞典で連対をしているかが、案外大きなポイントと言えるかもしれない。 なおその2年で勝利を挙げたのが、オールブラッシュ(17年)とミツバ(19年)。ともにGI/JpnI未勝利で実績的には格下だった。基本的には中央馬が上位人気を占めるので、配当的な妙味は薄いのが、実績上位の馬が勝つとは限らない。</p>
19.1.30 川崎 2100m 晴・良	6 ⑥ ミツバ(JRA) 牡7 57 和田竜二 2.15.0 3人気 2 ② ケイティブレイブ(JRA) 牡6 57 福永祐一 2 1/2 1 7 ⑧ オールブラッシュ(JRA) 牡7 57 田邊裕信 アタマ 2 単勝⑥700円 枠連復(2-6)280円 馬連復(2-6)270円 枠連単(6-2)1,410円 馬連単(6-2)1,240円 3連復(2-6-8)220円 3連単(6-2-8)2,960円											
18.1.31 川崎 2100m 晴・稍重	6 ⑥ ケイティブレイブ(JRA) 牡5 57 福永祐一 2.14.9 1人気 7 ⑦ アポロケンタッキー(JRA) 牡6 57 内田博幸 1 1/2 4 3 ③ アウオーディー(JRA) 牡8 57 武 豊 1 3 単勝⑥270円 枠連復(6-7)680円 馬連復(6-7)810円 枠連単(6-7)1,170円 馬連単(6-7)1,480円 3連復(3-6-7)1,040円 3連単(6-7-3)4,680円											
17.2.1 川崎 2100m 晴・良	7 ⑨ オールブラッシュ(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.14.6 5人気 8 ⑫ サウンドトゥルー(JRA) 牡7 57 大野拓弥 3 1 4 ④ コスモカナディアン(JRA) 牡4 56 柴田大知 1 1/2 6 単勝⑨1,820円 枠連復(7-8)1,020円 馬連復(9-12)1,760円 枠連単(7-8)2,510円 馬連単(9-12)4,730円 3連復(4-9-12)9,410円 3連単(9-12-4)70,890円											
16.1.27 川崎 2100m 晴・良	8 ⑫ ホッコータルマエ(JRA) 牡7 57 幸 英明 2.14.1 1人気 1 ① サウンドトゥルー(JRA) 牡6 57 大野拓弥 アタマ 2 2 ② アムールブリエ(JRA) 牝5 55 濱中 俊 4 3 単勝⑩210円 枠連復(1-8)170円 馬連復(1-12)180円 枠連単(8-1)350円 馬連単(12-1)370円 3連復(1-2-12)340円 3連単(1-2-1)1,160円											
15.1.28 川崎 2100m 晴・重	5 ⑤ ホッコータルマエ(JRA) 牡6 57 幸 英明 2.16.9 1人気 8 ⑪ カゼノコ(JRA) 牡4 56 秋山真一郎 3/4 3 7 ⑩ サミットストーン(船橋) 牡7 57 石崎 駿 1 1/2 6 単勝⑤100円 枠連復(5-8)450円 馬連復(5-11)450円 枠連単(5-8)480円 馬連単(5-11)500円 3連復(5-10-11)720円 3連単(5-11-10)1,640円											
<p>第47回 佐賀記念 JpnⅢ 2月11日(祝・火) 4歳以上 佐賀2000m 1着賞金2300万円 フルゲート12頭</p>  <p>写真●佐賀県競馬組合</p>	<table border="1"> <tr> <td>19.2.11 佐賀 2000m 曇・重</td> <td> 6⑦ ヒラボクラーシュ(JRA) 牡4 55 山本聡哉 2.05.7 3人気 2② リーゼントロック(JRA) 牡8 56 松岡正海 フビ 5 1① テーオーエナジー(JRA) 牡4 57 岩田康誠 8 1 単勝⑦560円 枠連復(2-6)5,770円 馬連復(2-7)5,450円 馬連単(7-2)8,200円 3連復(1-2-7)1,000円 3連単(7-2-1)16,740円 </td> </tr> <tr> <td>18.2.6 佐賀 2000m 曇・稍重</td> <td> 1① ルールンゾヴァール(JRA) 牡6 56 幸 英明 2.07.8 1人気 5⑤ トップディーヴォ(JRA) 牡6 56 横山典弘 4 2 7⑩ マイネルバサラ(JRA) 牡5 58 柴田大知 1 1/4 3 単勝①280円 枠連復(1-5)370円 馬連復(1-5)400円 馬連単(1-5)730円 3連復(1-5-10)320円 3連単(1-5-10)1,350円 </td> </tr> <tr> <td>17.2.7 佐賀 2000m 曇・不良</td> <td> 6⑥ ロンドンタウン(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.06.7 1人気 2② タムロミラル(JRA) 牡5 56 M.デムーロ 4 2 7⑨ ストロングサウザー(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1/2 3 単勝⑥290円 枠連復(2-6)260円 馬連復(2-6)350円 馬連単(6-2)670円 3連復(2-6-9)450円 3連単(6-2-9)1,900円 </td> </tr> <tr> <td>16.2.11 佐賀 2000m 晴・良</td> <td> 8⑪ ストロングサウザー(JRA) 牡5 56 田邊裕信 2.08.1 4人気 7⑥ マイネルクロップ(JRA) 牡6 57 丹内祐次 2 1/2 3 3③ クリノスターオー(JRA) 牡6 57 幸 英明 フビ 2 単勝⑩900円 枠連復(7-8)1,660円 馬連復(8-11)2,790円 馬連単(11-8)7,220円 3連復(3-8-11)2,980円 3連単(11-8-3)25,030円 </td> </tr> <tr> <td>15.2.10 佐賀 2000m 曇・稍重</td> <td> 6⑧ マイネルクロップ(JRA) 牡5 56 丹内祐次 2.09.5 1人気 7⑨ ソリタリーキング(JRA) 牡8 58 福永祐一 ハナ 2 5⑤ ダノンカモン(JRA) 牡9 57 川田将雅 3 3 単勝⑧290円 枠連復(6-7)370円 馬連復(8-9)410円 馬連単(8-9)720円 3連復(5-8-9)380円 3連単(8-9-5)1,760円 </td> </tr> </table>	19.2.11 佐賀 2000m 曇・重	6 ⑦ ヒラボクラーシュ(JRA) 牡4 55 山本聡哉 2.05.7 3人気 2 ② リーゼントロック(JRA) 牡8 56 松岡正海 フビ 5 1 ① テーオーエナジー(JRA) 牡4 57 岩田康誠 8 1 単勝⑦560円 枠連復(2-6)5,770円 馬連復(2-7)5,450円 馬連単(7-2)8,200円 3連復(1-2-7)1,000円 3連単(7-2-1)16,740円	18.2.6 佐賀 2000m 曇・稍重	1 ① ルールンゾヴァール(JRA) 牡6 56 幸 英明 2.07.8 1人気 5 ⑤ トップディーヴォ(JRA) 牡6 56 横山典弘 4 2 7 ⑩ マイネルバサラ(JRA) 牡5 58 柴田大知 1 1/4 3 単勝①280円 枠連復(1-5)370円 馬連復(1-5)400円 馬連単(1-5)730円 3連復(1-5-10)320円 3連単(1-5-10)1,350円	17.2.7 佐賀 2000m 曇・不良	6 ⑥ ロンドンタウン(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.06.7 1人気 2 ② タムロミラル(JRA) 牡5 56 M.デムーロ 4 2 7 ⑨ ストロングサウザー(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1/2 3 単勝⑥290円 枠連復(2-6)260円 馬連復(2-6)350円 馬連単(6-2)670円 3連復(2-6-9)450円 3連単(6-2-9)1,900円	16.2.11 佐賀 2000m 晴・良	8 ⑪ ストロングサウザー(JRA) 牡5 56 田邊裕信 2.08.1 4人気 7 ⑥ マイネルクロップ(JRA) 牡6 57 丹内祐次 2 1/2 3 3 ③ クリノスターオー(JRA) 牡6 57 幸 英明 フビ 2 単勝⑩900円 枠連復(7-8)1,660円 馬連復(8-11)2,790円 馬連単(11-8)7,220円 3連復(3-8-11)2,980円 3連単(11-8-3)25,030円	15.2.10 佐賀 2000m 曇・稍重	6 ⑧ マイネルクロップ(JRA) 牡5 56 丹内祐次 2.09.5 1人気 7 ⑨ ソリタリーキング(JRA) 牡8 58 福永祐一 ハナ 2 5 ⑤ ダノンカモン(JRA) 牡9 57 川田将雅 3 3 単勝⑧290円 枠連復(6-7)370円 馬連復(8-9)410円 馬連単(8-9)720円 3連復(5-8-9)380円 3連単(8-9-5)1,760円	<p>●5年連続で勝ち馬は重賞初制覇 過去5年で3着以内の15頭はすべて中央馬。GI/JpnIでも通用するような実力馬の出走はほとんどないが、毎年、中央の層の厚さを見せつけている。すでに重賞を勝っている馬よりも、新興勢力の方が狙い目。2015年マイネルクロップ、16年ストロングサウザー、17年ロンドンタウン、18年ルールンゾヴァール、そして19年のヒラボクラーシュと、5年連続で勝ち馬はこのレースが重賞初制覇。この5頭はすべて牡馬で、重量は重賞未勝利のため56キロ(4歳55キロ)で臨んでいた。 3着以内で好走した馬まで広げて臨戦過程を見ると、東海ステークス、チャンピオンズカップ、名古屋グランプリ、ペテルギウスステークスがそれぞれ3頭で、ポルックスステークスが2頭。チャンピオンズカップ組は、大敗馬でも買やすい。東海ステークス組は、ほどよく負けている場合が非常に買やすい。オープン特別組は勝っていることが望ましいが、過去に重賞で善戦した実績がないと信頼しにくい。名古屋グランプリ組は5着以内に入っていればチャンスはある。</p>
19.2.11 佐賀 2000m 曇・重	6 ⑦ ヒラボクラーシュ(JRA) 牡4 55 山本聡哉 2.05.7 3人気 2 ② リーゼントロック(JRA) 牡8 56 松岡正海 フビ 5 1 ① テーオーエナジー(JRA) 牡4 57 岩田康誠 8 1 単勝⑦560円 枠連復(2-6)5,770円 馬連復(2-7)5,450円 馬連単(7-2)8,200円 3連復(1-2-7)1,000円 3連単(7-2-1)16,740円											
18.2.6 佐賀 2000m 曇・稍重	1 ① ルールンゾヴァール(JRA) 牡6 56 幸 英明 2.07.8 1人気 5 ⑤ トップディーヴォ(JRA) 牡6 56 横山典弘 4 2 7 ⑩ マイネルバサラ(JRA) 牡5 58 柴田大知 1 1/4 3 単勝①280円 枠連復(1-5)370円 馬連復(1-5)400円 馬連単(1-5)730円 3連復(1-5-10)320円 3連単(1-5-10)1,350円											
17.2.7 佐賀 2000m 曇・不良	6 ⑥ ロンドンタウン(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.06.7 1人気 2 ② タムロミラル(JRA) 牡5 56 M.デムーロ 4 2 7 ⑨ ストロングサウザー(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1/2 3 単勝⑥290円 枠連復(2-6)260円 馬連復(2-6)350円 馬連単(6-2)670円 3連復(2-6-9)450円 3連単(6-2-9)1,900円											
16.2.11 佐賀 2000m 晴・良	8 ⑪ ストロングサウザー(JRA) 牡5 56 田邊裕信 2.08.1 4人気 7 ⑥ マイネルクロップ(JRA) 牡6 57 丹内祐次 2 1/2 3 3 ③ クリノスターオー(JRA) 牡6 57 幸 英明 フビ 2 単勝⑩900円 枠連復(7-8)1,660円 馬連復(8-11)2,790円 馬連単(11-8)7,220円 3連復(3-8-11)2,980円 3連単(11-8-3)25,030円											
15.2.10 佐賀 2000m 曇・稍重	6 ⑧ マイネルクロップ(JRA) 牡5 56 丹内祐次 2.09.5 1人気 7 ⑨ ソリタリーキング(JRA) 牡8 58 福永祐一 ハナ 2 5 ⑤ ダノンカモン(JRA) 牡9 57 川田将雅 3 3 単勝⑧290円 枠連復(6-7)370円 馬連復(8-9)410円 馬連単(8-9)720円 3連復(5-8-9)380円 3連単(8-9-5)1,760円											
<p>第66回 エンプレス杯 JpnⅡ 3月5日(木) 4歳以上牝馬 川崎2100m 1着賞金3500万円 フルゲート14頭</p>	<table border="1"> <tr> <td>19.2.27 川崎 2100m 曇・良</td> <td> 5⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝6 56 岩田康誠 2.15.3 2人気 4⑤ プランシェール(大井) 牝6 55 吉原寛人 2 8 6⑨ ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1 1/2 1 単勝⑦380円 枠連復(4-5)3,150円 馬連復(5-7)5,690円 枠連単(5-4)4,320円 馬連単(7-5)8,660円 3連復(5-7-9)4,690円 3連単(7-5-9)33,530円 </td> </tr> <tr> <td>18.2.28 川崎 2100m 曇・良</td> <td> 1① アンジュデジュール(JRA) 牝4 54 横山典弘 2.16.3 4人気 6⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝5 55 岩田康誠 1 1/2 1 3③ サルサディオオーネ(JRA) 牝4 54 丸山元気 ハナ 6 単勝①490円 枠連復(1-6)620円 馬連復(1-7)590円 枠連単(1-6)1,750円 馬連単(1-7)1,700円 3連復(1-3-7)5,580円 3連単(1-7-3)30,930円 </td> </tr> <tr> <td>17.3.1 川崎 2100m 晴・良</td> <td> 6⑨ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 2.17.0 1人気 7⑪ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 2 4 4④ ヴィータアレグリア(JRA) 牝6 55 森 泰斗 3/4 6 単勝⑨180円 枠連復(6-7)540円 馬連復(9-11)540円 枠連単(6-7)760円 馬連単(9-11)760円 3連復(4-9-11)1,460円 3連単(9-11-4)4,350円 </td> </tr> </table>	19.2.27 川崎 2100m 曇・良	5 ⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝6 56 岩田康誠 2.15.3 2人気 4 ⑤ プランシェール(大井) 牝6 55 吉原寛人 2 8 6 ⑨ ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1 1/2 1 単勝⑦380円 枠連復(4-5)3,150円 馬連復(5-7)5,690円 枠連単(5-4)4,320円 馬連単(7-5)8,660円 3連復(5-7-9)4,690円 3連単(7-5-9)33,530円	18.2.28 川崎 2100m 曇・良	1 ① アンジュデジュール(JRA) 牝4 54 横山典弘 2.16.3 4人気 6 ⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝5 55 岩田康誠 1 1/2 1 3 ③ サルサディオオーネ(JRA) 牝4 54 丸山元気 ハナ 6 単勝①490円 枠連復(1-6)620円 馬連復(1-7)590円 枠連単(1-6)1,750円 馬連単(1-7)1,700円 3連復(1-3-7)5,580円 3連単(1-7-3)30,930円	17.3.1 川崎 2100m 晴・良	6 ⑨ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 2.17.0 1人気 7 ⑪ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 2 4 4 ④ ヴィータアレグリア(JRA) 牝6 55 森 泰斗 3/4 6 単勝⑨180円 枠連復(6-7)540円 馬連復(9-11)540円 枠連単(6-7)760円 馬連単(9-11)760円 3連復(4-9-11)1,460円 3連単(9-11-4)4,350円	<p>●過去の実績を重視する 基本的には実力、実績上位馬が強いレースであり、過去の成績をしっかりと把握しておきたい。2014年以前は、ワイルドフラッパーやミラクルレジェンド、ラヴェリータが勝ち馬に名を連ねており、その時代の牝馬トップクラスの馬が出てくれば話は早い。近2年はプリンシアコメータが連対。同馬はJBCレディスクラシックで2着の実績があった。直近のTCK女王盃やクイーン賞の着順にとられないことが重要だ。南関東の馬もダートグレードで連対実績があれば要警戒。19年は8番人気で2着のプランシェールは、レディスプレリュードやTCK女王盃で2着の実績があった。</p>				
19.2.27 川崎 2100m 曇・良	5 ⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝6 56 岩田康誠 2.15.3 2人気 4 ⑤ プランシェール(大井) 牝6 55 吉原寛人 2 8 6 ⑨ ビスカリア(JRA) 牝7 55 森 泰斗 1 1/2 1 単勝⑦380円 枠連復(4-5)3,150円 馬連復(5-7)5,690円 枠連単(5-4)4,320円 馬連単(7-5)8,660円 3連復(5-7-9)4,690円 3連単(7-5-9)33,530円											
18.2.28 川崎 2100m 曇・良	1 ① アンジュデジュール(JRA) 牝4 54 横山典弘 2.16.3 4人気 6 ⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝5 55 岩田康誠 1 1/2 1 3 ③ サルサディオオーネ(JRA) 牝4 54 丸山元気 ハナ 6 単勝①490円 枠連復(1-6)620円 馬連復(1-7)590円 枠連単(1-6)1,750円 馬連単(1-7)1,700円 3連復(1-3-7)5,580円 3連単(1-7-3)30,930円											
17.3.1 川崎 2100m 晴・良	6 ⑨ ワンミリオンズ(JRA) 牝4 55 戸崎圭太 2.17.0 1人気 7 ⑪ リンダリンド(大井) 牝4 55 吉原寛人 2 4 4 ④ ヴィータアレグリア(JRA) 牝6 55 森 泰斗 3/4 6 単勝⑨180円 枠連復(6-7)540円 馬連復(9-11)540円 枠連単(6-7)760円 馬連単(9-11)760円 3連復(4-9-11)1,460円 3連単(9-11-4)4,350円											

第22回 黒船賞

JpnⅢ
3月10日(火)

4歳以上 高知1400m
1着賞金2100万円
フルゲート12頭



写真●高知県競馬組合

19.3.21 高知 1400m 曇・不良	③ ② サクセスエナジー(JRA) 牡5 58 松山弘平 1.26.6 1人 ① ① ヤマニンアンプリム(JRA) 牝5 54 鮫島良太 アタマ 3 ⑤ ⑤ キングズガード(JRA) 牡8 57 藤岡佑介 5 4
18.3.20 高知 1400m 雨・不良	① ① エイシンヴァラー(兵庫) 牡7 56 下原 理 1.27.2 9人 ⑦ ⑧ キングズガード(JRA) 牡7 57 藤岡佑介 クビ 1 ⑤ ⑤ ブルドッグボス(浦和) 牡6 57 岩田康誠 アタマ 2
17.3.14 高知 1400m 晴・重	③ ⑫ プラズンドリス(JRA) 牡5 56 内田博幸 1.28.2 2人 ⑦ ⑨ キングズガード(JRA) 牡6 56 藤岡佑介 3/4 3 ⑤ ⑥ グレイスフルリブ(JRA) 牡7 57 川田将雅 1 1/2 5
16.3.15 高知 1400m 晴・不良	⑤ ⑥ ダノンレジェンド(JRA) 牡6 58 M.テムーロ 1.27.0 1人 ⑧ ⑫ ニシケンモノノフ(JRA) 牡5 56 戸崎圭太 1 2 ② ② タールタン(JRA) 牡8 56 福永祐一 2 1/2 3
15.3.17 高知 1400m 晴・重	④ ④ ダノンレジェンド(JRA) 牡5 57 丸田恭介 1.27.3 2人 ③ ③ ドリームパレンチノ(JRA) 牡8 59 岩田康誠 2 3 ⑦ ⑨ タガノジツガコ(兵庫) 牡8 57 木村 健 1/2 5
	単勝③170円 枠連複(1-3)370円 馬連複(1-3)380円 馬連単(3-1)550円 3連複(1-3-5)570円 3連単(3-1-5)1,670円
	単勝①23,430円 枠連複(7-8)720円 馬連複(9-12)1,180円 馬連単(1-8)105,040円 3連複(1-5-8)14,200円 3連単(1-8-5)290,640円
	単勝⑩460円 枠連複(5-8)190円 馬連複(6-12)190円 馬連単(6-12)330円 3連複(2-6-12)220円 3連単(6-12-2)700円
	単勝④310円 枠連複(3-4)610円 馬連複(3-4)620円 馬連単(4-3)1,260円 3連複(3-4-9)5,540円 3連単(4-3-9)16,990円

●1400mがベストの先行馬がいい

地方馬による勝利は、2018年のエイシンヴァラーと、1998年に行われた第1回のリバーセキトバの2頭だけ。ともに9番人気での優勝となり、配当的には波乱となった。ともに中央に在籍していた馬で、地方馬が好走するのは難しいレースとなっている。よって、基本は中央勢の戦いで、人気サイドの決着になる。

特に人気になりやすいのが、前走フェブラリーステークス組。19年に優勝したサクセスエナジーは前走フェブラリーステークスで8着だった。中央のGIでも先行できるスピードがあり、なおかつ1400mがピッタリというタイプであれば非常に狙いやすい。一方、キングズガードは3年連続で3着以内を確保しているが、勝利はない。1400mはベストでも追い込み馬は取りこぼすリスクがある。15年に1番人気で5着に敗れたワイドパッサも、決め手が武器の馬で東京コースがベストのタイプだった。

過去にはサウスヴィグラスやマイネルセレクト、ブルーコンコルドらが勝利しており、GI/JpnIにもつながる注目の一戦だ。

第65回 ダイオライト記念

JpnⅡ
3月11日(水)

4歳以上 船橋2400m
1着賞金3200万円
フルゲート14頭

19.3.13 船橋 2400m 曇・重	① ① チュウワウイザード(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.37.3 1人 ⑥ ⑥ アポロケンタッキー(JRA) 牡7 56 戸崎圭太 4 5 ④ ⑥ オールブラッシュ(JRA) 牡7 56 田邊裕信 1/2 3
18.3.14 船橋 2400m 晴・稍重	① ① ケイティブレイブ(JRA) 牡5 56 福永祐一 2.34.8 1人 ② ② アポロケンタッキー(JRA) 牡6 56 内田博幸 1 1/2 2 ⑦ ⑦ マイネルパサラ(JRA) 牡8 56 柴田大知 2 3
17.3.15 船橋 2400m 曇・重	③ ③ クリソライト(JRA) 牡7 56 武 豊 2.37.8 1人 ⑦ ⑫ ユーロビート(大井) 牡8 56 吉原寛人 6 4 ④ ⑥ ウマノジョー(大井) 牡4 55 山本聡哉 5 7
	単勝①140円 枠連複(1-6)840円 馬連複(1-9)770円 枠連単(1-6)1,140円 馬連単(1-9)1,150円 3連複(1-6-9)1,220円 3連単(1-9-6)4,030円
	単勝①180円 枠連複(1-2)120円 馬連複(1-2)120円 枠連単(1-2)210円 馬連単(1-2)220円 3連複(1-2-7)140円 3連単(1-2-7)350円
	単勝③160円 枠連複(3-7)530円 馬連複(3-12)560円 枠連単(3-7)640円 馬連単(3-12)670円 3連複(3-6-12)4,760円 3連単(3-12-6)10,950円

●1番人気4連勝中

19年はチュウワウイザードが4馬身差で完勝。同年の川崎記念を制したミツパを押さえて1番人気に支持され、見事に結果を残した。その頃から高い能力を評価され、その後は帝王賞で2着し、秋にはJBCクラシックでJpnI初制覇となった。GI/JpnIでも勝ち負けできる地力と、2400m前後の距離適性が問われるレースだ。18年はケイティブレイブが勝利し、15年から17年はクリソライトが3連勝。また、1番人気4連勝中だ。16年3着、17年2着のユーロビート(大井)も2400mの東京記念(14、16年)で勝利実績があった。

第43回 名古屋大賞典

JpnⅢ
3月12日(木)

4歳以上 名古屋1900m
1着賞金2100万円
フルゲート12頭



写真●愛知県競馬組合

19.3.14 名古屋 1900m 晴・稍重	③ ⑫ グリム(JRA) 牡4 55 武 豊 2.02.1 1人 ② ② ヒラボクラターシュ(JRA) 牡4 55 福永祐一 1 1/2 2 ⑦ ⑨ アナザートゥルース(JRA) 牡5 54 大野拓弥 2 4
18.3.29 名古屋 1900m 晴・良	⑤ ⑤ サンライズソア(JRA) 牡4 54 M.テムーロ 2.02.4 1人 ⑥ ⑥ ミツパ(JRA) 牡6 55 松山弘平 1/2 2 ④ ④ キーグラウンド(JRA) 牡4 54 藤岡康太 3/4 6
17.3.30 名古屋 1900m 晴・良	⑤ ⑤ ケイティブレイブ(JRA) 牡4 58 福永祐一 2.02.5 3人 ② ② ピオネロ(JRA) 牡6 54 戸崎圭太 1 1/2 4 ⑥ ⑥ カツゲキキト(名古屋) 牡4 54 大畑雅章 1/2 6
16.3.17 名古屋 1900m 晴・良	② ② アウオーディー(JRA) 牡6 55 武 豊 2.01.2 1人 ⑦ ⑩ パンズーム(JRA) 牡5 54 田邊裕信 大差 4 ⑤ ⑥ モズライジン(JRA) 牡4 54 中谷雄太 3/4 3
15.3.26 名古屋 1900m 晴・良	⑧ ⑪ メイショウコロンボ(JRA) 牡6 55 武幸四郎 2.00.8 3人 ⑦ ⑩ アジアエクスプレス(JRA) 牡4 55 戸崎圭太 1/2 1 ⑤ ⑤ フィールザスマート(JRA) 牡4 54 田中勝春 9 2
	単勝⑫190円 枠連複(2-8)190円 馬連複(2-12)170円 馬連単(12-2)350円 3連複(2-9-12)390円 3連単(12-2-9)1,060円
	単勝⑤200円 枠連複(5-6)220円 馬連複(5-6)290円 馬連単(5-6)490円 3連複(4-5-6)2,090円 3連単(5-6-4)5,080円
	単勝⑤450円 枠連複(2-5)990円 馬連複(2-5)1,030円 馬連単(5-2)2,100円 3連複(2-5-6)3,410円 3連単(5-2-6)14,760円
	単勝②140円 枠連複(2-7)520円 馬連複(2-10)690円 馬連単(2-10)960円 3連複(2-6-10)580円 3連単(2-10-6)1,880円
	単勝⑧480円 枠連複(7-8)310円 馬連複(10-11)310円 馬連単(11-10)930円 3連複(5-10-11)200円 3連単(11-10-5)1,710円

●マイル戦にも対応できる馬がいい

過去5年の1番人気の成績は【3・1・0・1】で4頭が連対。2017年のモルトベーネだけが4着と馬券圏外に敗れてしまったが、次走はアンタレスステークスを制しており、力が足りなくて敗れたわけではない。ただ、名古屋競馬場独特の小回りコースの対応に苦しむケースがある。あとは、意外と短い距離での実績・適性も必要となるレースかも見れない。

と言うのも、15年1着のメイショウコロンボは前走で兵庫ゴールドトロフィーを勝利していた。14年1着のダノンカモンはマイルチャンピオンシップ南部杯や武蔵野ステークスで2着などの実績がありながら、ここで重賞初制覇となったのだ。18年1着のサンライズソアも武蔵野ステークスで2着の実績があった。実際には1900mの距離を走るので、中距離をこなせないと困るが、マイル戦にも対応できるスピードがあった方が望ましい。

16年アウオーディー、17年ケイティブレイブのようにGI/JpnI級の力があれば、問答無用に押し切れる。地方勢は苦戦傾向だが、この競馬場を得意にしている馬であれば侮れない。

LOTO 高額配当ランキング

Odds Park 2019年9月1日～2019年11月30日

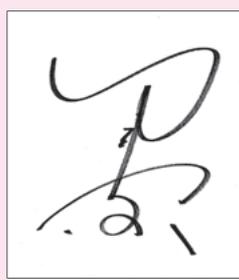
[五重勝単勝式]

第1位	2,084,880円(1口)	10/18 園田
第2位	2,044,060円(8口)	9/20 園田
第3位	2,043,580円(1口)	10/25 園田
第4位	1,858,150円(1口)	11/8 園田
第5位	1,445,080円(1口)	9/5 園田
第6位	1,114,230円(5口)	11/19 園田
第7位	989,130円(2口)	9/15 佐賀

[七重勝単勝式]

第1位	4,611,250円(1口)	9/1 帯広
第2位	1,238,230円(1口)	11/3 帯広

読者プレゼント



①田中 学 騎手直筆
サイン色紙…2名様
提供：田中 学 騎手

②オッズパーク
2020年卓上カレンダー
……10名様
提供：オッズ・パーク株式会社



ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は1月20日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

重賞&ダートグレード日程(2020年1月~3月)

1月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	名古屋	1(祝・水)	第22回 新春ペガサスカップ	重賞	3歳	1,600
	帯広	2(木)	第42回 帯広記念	重賞	4歳以上	200
	水沢	2(木)	第45回 金杯	重賞	3歳	1,600
	帯広	3(金)	第13回 天馬賞	重賞	5歳	200
	園田	3(金)	第62回 新春賞	重賞	4歳以上	1,870
	名古屋	4(土)	第23回 名古屋記念	重賞	4歳以上	1,400
	水沢	6(月)	第19回 トウケイニセイ記念	重賞	4歳以上	1,600
	笠松	9(木)	第25回 白銀争覇	重賞	4歳以上	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	園田	9(木)	第21回 園田クイーンセレクション	重賞	3歳牝馬	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	名古屋	16(木)	第25回 マイル争覇	重賞	4歳以上	1,600 北陸・東海・近畿地区交流
	高知	19(日)	第9回 大高坂賞	重賞	4歳以上	1,400
	佐賀	19(日)	第61回 花吹雪賞	重賞	3歳牝馬	1,800 四国・九州地区交流
	大井	22(水)	第23回 TCK女王盃JpnIII	DG	4歳以上牝馬	1,800 中央・地方全国交流
	笠松	23(木)	第44回 ゴールドジュニア	重賞	3歳牡馬・牝馬	1,600 北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	26(日)	第2回 ウィンターチャンピオン	重賞	3歳以上	1,400
	名古屋	28(火)	第7回 梅桜賞	重賞	3歳牝馬	1,800 北陸・東海・近畿地区交流
	川崎	29(水)	第69回 川崎記念JpnI	DG	4歳以上	2,100 中央・地方全国交流
	姫路	30(木)	第49回 白鷺賞	重賞	4歳以上	2,000

2月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	高知	2(日)	第17回 黒潮スプリンターズカップ	重賞	4歳以上	1,300 地方全国交流
	笠松	6(木)	第37回 ウィンター争覇	重賞	4歳以上	1,800
	帯広	9(日)	第30回 ヒロインズカップ	重賞	4歳以上牝馬	200
	佐賀	11(祝・火)	第47回 佐賀記念JpnIII	DG	4歳以上	2,000 中央・地方全国交流
	名古屋	13(木)	第21回 梅見月杯	重賞	4歳以上	1,900 地方全国交流
	帯広	16(日)	第45回 黒ユリ賞	重賞	3歳牝馬	200
	高知	16(日)	第7回 だるま夕日賞	重賞	4歳以上	1,600
	園田	19(水)	第12回 園田ユースカップ	重賞	3歳	1,400
	園田	20(木)	第4回 園田ウィンターカップ	重賞	4歳以上	1,400
	名古屋	24(振・月)	第45回 スプリングカップ	重賞	3歳	1,800 地方全国交流
	佐賀	27(木)	第24回 たんぼぼ賞	重賞	3歳九州産	1,400 中央1勝クラス・地方全国交流

3月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	帯広	1(日)	第41回 チャンピオンカップ	重賞	4歳以上・重賞競走優勝馬	200
	川崎	5(木)	第66回 エンプレス杯JpnII	DG	4歳以上牝馬	2,100 中央・地方全国交流
	帯広	7(土)	第51回 イレネー記念	重賞	3歳	200
	佐賀	8(日)	第16回 飛燕賞	重賞	3歳	1,400
	名古屋	10(火)	第4回 中京ペガスターカップ	重賞	3歳	1,600
	高知	10(火)	第22回 黒船賞JpnIII	DG	4歳以上	1,400 中央・地方全国交流
	船橋	11(水)	第65回 ダイオライト記念JpnII	DG	4歳以上	2,400 中央・地方全国交流
	名古屋	12(木)	第43回 名古屋大賞典JpnIII	DG	4歳以上	1,900 中央・地方全国交流
	帯広	15(日)	第41回 ポプラ賞	重賞	4歳・5歳	200
	佐賀	15(日)	第17回 はぐくれ大賞典	重賞	3歳以上	2,000 地方全国交流
	笠松	19(木)	第41回 マーチカップ	重賞	4歳以上	1,900
	帯広	21(土)	第52回 ばんえい記念	重賞	4歳以上	200
	高知	22(日)	第8回 土佐春花賞	重賞	3歳	1,300
	名古屋	26(木)	第18回 若草賞	重賞	3歳牝馬	1,400 地方全国交流
	高知	29(日)	第8回 御厨人窟賞	重賞	4歳以上	1,400

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。



ひめじけいば

2020年1月15日(水) 姫路競馬開催!!

7年半ぶりに



キャンペーン実施決定! 詳細はオッズパークサイトで1月中旬に発表します!

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式			レース実況
					枠番 普通	馬番 拡大 (ワイド)	枠番 単	馬番 単	三連 複	三連 単	セレ クト5	セレ クト7	ラン ダム7	電話 投票 ARS	イン ター ネッ ト オ ズ パ ー ク 投 票	クラ シッ ク 投 票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市) 0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市) 0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン <http://www.oddsark.com/>
携帯 <http://m.oddsark.com/>
スマートフォン <https://sp.oddsark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※[0180][0570]で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけません。

※[0180]で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル([0570]で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。